

第七十四回帝國議會
衆議院

青年學校教育費國庫補助法案外二件委員會會議錄(速記)第十四回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク)
地方學事通則中改正法律案(政府提出)
青年學校令ニ依リ就學セシメラルベキ者ノ就業時間ニ關スル法律案(政府提出)

會議

昭和十四年三月十五日(水曜日)午後一時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 野村 嘉六君

理事古島 義英君 理事一ノ瀬俊民君

理事長野 高一君 理事庄司 一郎君

南 鼎三君 田子 一民君

樋口善右衛門君 佐藤 與一君

河合 義一君 椎尾 辨匡君

同月十一日委員岡田喜久治君、曾和義式君及今成留之助君辭任ニ付其ノ補闕トシテ古島義英君、南鼎三君及森田重次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十五日理事岡田喜久治君、曾和義式君ノ補闕トシテ古島義英君、庄司一郎君理事ニ當選セリ

三月十一日青年學校令ニ依リ就學セシメラルベキ者ノ就業時間ニ關スル法律案(政府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

文部大臣 男爵荒木 貞夫君

厚生大臣 廣瀨 久忠君

出席政府委員左ノ如シ

文部政務次官 小柳 牧衛君

文部省普通學務局長 藤野 惠君

文部省社會教育局長 田中 重之君

教學局長官 菊池豐三郎君

教學局部長 阿原 謙藏君

厚生省體力局長 佐々木芳遠君

厚生省勞働局長 成田 一郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

青年學校令ニ依リ就學セシメラルベキ者ノ就業時間ニ關スル法律案(政府提出)

○野村委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、委員ノ中ニ辭任サレタ人ガアリマスカラ、

其ノ點ヲ申上ゲマス、岡田喜久治君ト曾和義式君ガ辭任サレマシタ、ソコデ岡田喜久治君ノ補闕トシテ古島義英君、曾和義式君ノ補闕トシテ南鼎三君ガ委員トナラレマシタ、岡田君、曾和君ハ理事デアリマスカラ、

其ノ補闕トシテ古島義英君、庄司一郎君ヲ理事ニ指名致シマス——是カラ青年學校令ニ依リ就學セシメラルベキ者ノ就業時間ニ關スル法律案ノ審議ニ入りマス、——廣瀨

○廣瀨國務大臣 只今議題トナリマシタ青年學校令ニ依リ就學セシメラルベキ者ノ就業時間ニ關スル法律案ニ付テ御説明ヲ申上

ゲマス、青年學校ノ義務制ハ昭和十四年度ヨリ實施セラレル豫定デアリマスルノデ、

ソコデ此ノ法案ヲ提出致シマシテ年少勞働者ノ心身ノ保護ヲ圖ルト同時ニ、青年學校教育ノ效果ヲ舉ゲルト云フ趣旨デ、此ノ法律案ヲ提出致シタ譯デアリマス、斯様ナ趣旨カラ青年學校令ニ依リ就學セシメラルベキ者ノ就業時間ニ新ニ制限ヲ加ヘル必要ヲ認メマシテ、茲ニ本法案ヲ提出シタ次第デアリマス

此ノ案法ノ内容ヲ簡單ニ申上ゲマスト、第一ニハ此ノ法律ハ現在工場法、鑛業法ニ基ク命令、又ハ商店法ニ於テ既ニ就業時間數ノ制限ニ關スル規定ノ適用ヲ受ケテ居リマスル所ノ十六歳未満ノ者

デアツテ、青年學校ニ就學シナケレバナラス者ニ付キマシテ、新ニ就業時間ノ制限ヲ設ケントスルノデアリマス、第二ニ此ノ法律ハ青年學校ニ於ケル一日ノ教授及ビ訓練時間ハ之ヲ就業時間ト看做スト云フコトヲ

規定致シマシテ、其ノ結果一日ノ教授及ビ訓練時間ト就業時間ト通算ヲシマシテ、ソレゾレノ法令ニ定ムル所ノ就業時間ノ制限ヲ超エルコトガ出來ナイト云フコトニ致シタノデアリマス、尙ホ就業時間ト看做サレル教授及ビ訓練時間ハ總テノ教授及ビ訓練時間デハナイノデアリマシテ、義務課程ト定メラレタモノニ限リ譯デアリマス、以上本法案ノ極ク概要ヲ御説明申上ゲマシタ、何卒慎重御審議ノ上御協賛アランコトヲ御願申上ゲマス

○森田委員 只今御説明ニナリマシタ法案ニ關スル資料ヲ色々頂戴致シマシタガ、是ハ十分讀シタ上デ直接法案ニ關係アル質問ヲ致シタイト思フノデアリマスガ、大體體位ノ上カラ考ヘタ一ツノ制限ダト考ヘマサルノデ、幸ヒ大臣モ御見エデゴザイマスカラ、私此ノ法案ニ關聯致シマシテ、日本ノ體育ノ一ツノ方針ト云ツタヤウナモノニ付テ厚生省ノ御意見ノアル所ヲ二三御伺ヲ致シタイト思ヒマス、細力イ點ハ何レ後デ體力局長ニモ御伺シタイト思ヒマスガ、大臣ニ對シテ特ニ御願致シタイ點ガアルノデアリ

マス、ソレハ厚生省ガ今度新ニ設ケラレマシテ、國民ノ體位向上ノ上ニ特ニ國家ノ上カラ重要ダト思ハルル御施設ヲ爲サレルコトニナツテ居ルノデアリマス、洵ニ吾々ト致シマシテモ結構ナコトダト思フノデス、所ガウツカリ致シマス、新シク省ガ設カツタノデアルカラ、何方外的ニ目立ツヤウナコトデモシテ、サウシテ厚生省ト云フモノガ相當仕事ヲシテ居ルノダゾト云フコトヲ、示シタイト云フヤウナ御氣持ガアラルルダラウト思フ、是ハドナタニシテモサウ云フコトニナルト思フノデアリマス、是ハ一面弊害ガ伴フモノデアルト同時ニ、非常ニ意味ノアル考ヘ方ダト思フ、若シ厚生省本來ノ使命ト云フヤウナモノヲ眞ニ認識致シマシテ、サウシテ徹底的ニ國民ニ此ノ省ノ設ケラレタ所以ト云フモノヲ十分宣傳シ、徹底セシメテ、サウシテ體位向上ノ上ヨリ國民トシテ反省スベキ一ツノ基準ヲ示スト云フコトニナリマスレバ、色々ノ御施設モ極メテ必要ナコトニナルシ、多少ソコニ弊害ヲシイモノガ出テ來タト致シマシテモ、大體ニ於テ向フ所ヲ誤ツテ居ラナケレバ、是ハ現實ノ問題トシテハ容認セナケレバナラナイコトダト思フ、唯私ノ心配致シマスルノヘ、ソレノ分課ガアリマシテ、局、課ト云

ツタヤウナ工合ニ色々分レテ居ル、分レテ行キマスル、結局綜合的ナモノヲ忘レルト云フノガ今マデ色々ノ御施設ノ上ニ現ハレタ缺陷ダト思フ、常ニ綜合ノ上ニ立ツテ、個々ノ施設ハ此ノ大キイモノノ此ノ部分ヲ擔當シテ居ルノダト云フ方針ヲ忘レルト云フコトニナル、隨テ各課ニ依ツテ其ノ特徴ヲソレゾレ發揮シテ行ツテ自己ノ手腕ノアル所ヲ一ツ示サウト云フヤウナコトガ能ク各省ニアルコトデアリマス、是ガ世ノ中ガ進ムニ從ツテ分課サレルト云フ點ニ於テ特徵ガアルト同時ニ、統一ノ方面ヲ忘レルト云フ非常ナ缺陷ガ生ズル本ニナルノダト私ノ考ヘル、一面サウ云フヤウナ弊ガ生ジテ來マス、兎角外形的ナ眼ニ見エルヤウナコトヲ中心トシテ施設ガ行ハレルヤウナコトニナリマシテ、實質的ナ方面ヲ忘却スルヤウナ傾キト云フモノガアルト思フ、サウ致シマスルト厚生省ガ折角設ケラレタ國民體位ノ向上ト云フヤウナコトモ、果シテ所期スル形ニ於テ達成セシメ得ルカドウカラ憂ヘナケレバナラヌト云フヤウナコトニナルト思フノデアリマス、厚生省ニ於テモ無論此ノ點ニ付テ十分御用意アラルコトダトハ思ヒマスルガ、此ノ機會ニソレ等ノ點ニ付キマシテ厚生大臣ノ御所見ヲ承ルコトガ出來マスレバ幸ヒ

ダト思ヒマス
○佐藤委員 一寸大臣ノ御答辯ノ前ニ關聯事項ニ付テ……御承知ノ通り體育ハ教育ノ重要ナル部門ヲ占メテ居リマス、而シテ從來教育ノコトハ文部省ニ於テ所管シ來ツタノデアリマスガ、厚生省ガ出來マシテ、只今森田委員カラ質疑ガアリマシタ中ニモ多少其ノ點ニ觸レテ居ルト思フノデアリマシガ、國民ノ體育ノ問題ハ總テ厚生省ニ於テ御所管ニナルノデアリマセウカ、若シ然ルトスレバ文部省ニ於テ教育ノ問題ヲ審議スル際ニ、厚生省ノ御意見ヲ御伺シタ上デナケレバ文部省ニ於テ色々ノ施設ヲスルコトガ出來ナイヤウナコトニナルダラウト思フノデアリマス、又サウデナイト致シマス、文部省ノ體育ニ關スル大方針ヲ厚生省ガ知悉スルノデナケレバ、厚生省ノ仕事ガ出來ナイ結果ニナルト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ關シマシテ厚生省ト文部省ニ於テ如何ナル關係ニアリマスカト云フコトモ併セテ御答ヲ御願シタイノデアリマス
○廣瀨國務大臣 先ヅ最初ノ御質問ニ御答申上デマスガ、洵ニ御尤デアリマシテ、色々役所ガ出來、又色々ナ分課ガ出來マス、兎角分レノニナリ過ギテ、自己ノ立場ノミヲ考ヘテ、大キイ立場ヲ忘レルト云フヤ

ウナコトニナリ勝チデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ分課ト統一ト云フヤウナ點ニ付テ十分注意ヲシテ、常ニ綜合的ノ見地ニ立ツテ仕事ヲ致サナケレバナラヌト云フ御意見ニ付テハ私共全く同感デアリマス、又同時ニ御話ノヤウニ實質的ニ物ヲ考ヘテ行カナケレバイカス、徒ニ形式ニ囚ハレテハナラヌト云フコトニ付テモ洵ニ同感ニ存ジテ居リマス、ソレデ國民體育ノ問題ニ付キマシテ厚生省ト致シマシテモ、隨テ常ニ統合的ニ考ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、併シ之ヲ尙ホ具體的ニ現ハス爲ニ來年度ハ特ニ體力向上ノ審議會ト云フヤウナ大キナ一ツノ審議會ヲ拵ヘマシテ、各方面ノ有力ナ方々ニ御集リヲ願ツテ、國民體力ノ向上全體ニ付テ御意見ヲ伺フト云フヤウナ方法ヲ執ツテ行キタイ、無論役所自體トシテモ常ニ綜合的ナ見地ニ立ツテ體力局ノ仕事モサウデアリマスルシ、衛生局ノ仕事モ或ハ防疫局ノ仕事モ或ハ各種社會保險ノ仕事モ、又勞働行政ノコトモ、ソレカラ社會救済ニ關スルコトモ皆或ル一點ニ集中ヲシナケレバナラナイコトハ役所トシテモ常ニ考ヘテ於リマスガ、尙ホ其ノ外ニモ體力向上審議會ト云フヤウナ特別ナ組織ヲモ設ケマシテ御心配ノ點ニ付テハ十分ニ注意ヲ致シテ進

ム積リデアリマス

次ニ文部省トノ關係デアリマスガ、是ハ厚生省ノ生レル際ニ文部省ト能ク協定ヲ致シマシテ、サウシテ互ニ連絡ヲ取り各、分掌ヲ定メテアル譯デアリマスガ、學校ニ於ケル體育ハ無論文部省デオヤリニナル、ソレカラ國民體育トシテ、廣ク一般ノ事項ニ付テハ厚生省ガ之ニ當リ、相互ノ連絡ヲ執ツテ矛盾ノナイヤウニシテ行ク、之ニ付キマシテハ平素ノ行政上ノ連絡ハ勿論、色々ナ種類ノ委員會等ニ於テモ、兩方共ニ委員ノ交換ナドヲ致シ、十分連絡ヲ持ツテ進ム考デアリマス

○森田委員 只今ノ厚生大臣ノ御説明ハ全ク私等ノ意ヲ強ウスルモノガアルト思フノデアリマス、ドウカ兎角忘レ勝ニナル其ノ點ヲ常ニ御留意アラントラ御願申上ゲル次第デアリマス

第二ニ御伺シタイコトハ厚生省ノ使命ニ付デアリマスルガ、是ハ省ガ新シク設ケラレタノデアリマシテ、其ノ内容ニ付テ檢討シテ見マスルト、是ガ果シテ厚生省ノ管轄トシテ適當カドウカト云ツタヤウナコトモナキニシモアラズト思フ、併シ現實ノ問題トシテ相當御考慮ノ上御入レナサツタモノダト思フノデアリマスガ、私等カラ見マ

スルト、厚生省ノ根本的ノ特徴ハ何カト云

フト、國民ノ體位ノ向上ニアルト思フ、他ノ色々ノ細カイ施設ノ如キハソレニ附隨セル形ニ於テ設ケラレタモノダ、是ガ大體ノ定義デナイカト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ意味合ニ於テ厚生省ガ設ケラレタ使命、厚生省ノ爲サント欲スル目標ト云フヤウナモノヲ、モウ少シ國民ノ間ニ徹底普及サセル必要ガアルノデハナイカ、新ニ斯ウ云フ省ヲ設ケタ所以ノモノハ何故デア

ルカト云フト、日本ノ民族ノ體位ノ降下、是等ノ點ニ付デドウシテモ更ニ省ヲ設ケナケレバナラナカツタノダト云フヤウナコトヲ、本當ニ徹底的ニ國民ノ間ニ普及セシメテ、之ヲ一ツノ機會トシテ國民ノ間ニ一ツノ體位向上ノ運動ガ起ルト云フヤウナ形ニスルノガ、厚生省ノ一大使命ダト考ヘテ居ルノデアリマス、所ガ今マデノソレニ見マスト、果シテ厚生省ハ此ノ使命ト云フヤウナモノヲ本當ニ認識サス爲ニ國民ノ間ニドレダケ徹底サスト云フ手段ヲ御執リニナツタカニ付テ、不敏ニシテマダ餘リ聞イテ居ルコトガ少イノデアリマス、厚生省ガ設ケラレテ以來御執リニナラレタ使命、宣傳ノ方法並ニ將來ソレヲ爲サントシツツアル御計畫ガアリマスルナラバ承リタイト思ヒマ

ス

○廣瀨國務大臣 洵ニ御尤ナ御質問ト思ヒマス、實ハ昨年ノ一月ニ生レタバカリデアリマシテ、マダ能ク厚生省ノ使命ト云フヤウナモノガ徹底ヲシテ居ラナイ、此ノ點ニ付キマシテハ私共モ色々努力致シテ居リマスガ、マダ十分デナイト思ヒマス、私共ト致シマシテハ厚生省ノ行政ノ内容ヲ斯ウ思ツテ居ル、例ヘテ申シマスルト、今國民體位ノ向上ガ、非常ナ重要ナ「ポイント」トシテ取上ゲラレタ譯デアリマスガ、併シナガラ此ノ他ニモ軍人ノ遺家族ノ援護、傷病兵ノ援護等ノ銓後對策、或ハ又國民生活安定ニ關スル色々ナ社會政策的ノ諸施設、其ノ他勞務ニ關スル對策、大體大キク項目ヲ分ケレバ斯ウ云フヤウニ分ケラレルト思ヒマス、併シ歸スル所ハヤハリ我ガ大和民族ノ人的方面ノ向上發達デアツテ、厚生省ハ其ノ向上發展ニ資スル爲ノ役所デアアル、而モ人的方面カラ物ヲ取扱ツテ居ル所ニ、其ノ特徴ガアルト思ツテ居リマス、之ニ付キマシテハ、色々ナ機會ニ於テ、十分ニ是ガ地方ニ通ズルヤウナ方法ヲ採ツテ居リマス、例ヘテ申シマスル所ト地方官會議トカ、或ハ色色ナ新シイ行政ヲ致シマス其ノ都度各地方ニソレレノ地方的ノ會議ヲ開イテ、厚生

省ノ仕事ノ徹底ヲ圖ツテ居リマス、併シナガラマダ中々思フヤウニハ參リマセヌ、厚生行政ニ關スル色々ナ出版物等モ出シテ居リマスガ、是モ十分ニハ行ツテ居リマセヌ、併シナガラ是ハ御話ノヤウニ厚生省トシテハ重大ナ問題デアルカラ、國民ニ能ク理解シテ戴イテ、國民ノ協力ヲ受ケ、自覺ニ懃ヘナケレバナラス仕事バカリデス、ソコダ國民ニ之ヲ徹底サセンガ爲ニハ、有ユル努力ヲ拂ツテ居リマス、御注意ニ依リマシテ、此ノ點ニハ將來モ尙ホ十分努力ヲ致シタイト思ツテ居リマス

○樋口委員 一寸關聯シテ厚生大臣ニ伺ヒタイ、只今厚生省ノ使命ト言ヒマスガ、厚生省ノヤラレルコトハ、體位ノ向上ヲ圖ルト云フコトデアリマスガ、私ハ實際ニ於テソレハ無理ナ話デハナイカト思フ、厚生省ノ扱ハレル人ハ先ヅ青年位カラデアアル、我國ノ體位ノ惡クナツテ來タノニハ種々ノ原因ガアラウケレドモ、主タルモノハ小學教育ノ間ニ身體ヲ壞ハシテシマフコトデアアル、譬ヘテ見ルト、丁度苗ガ苗代ニアル時注意ヲシナイデ、弱イ苗ニシテシマツテ、ソレヲ愈、田ニ植エテカラ丈夫ニシヨウト云フヤウナモノデ、甚ダ無理ナ話デアアル、厚生省ハ將來效果ヲ御擧ゲニナル確信デアリマセ

ウガ、小學教育ガドレ位體位ニ禍ヲ爲シテ居ルカ分ラナイ、小學校ノ教ヘ方ヲ見マス、ト、私ハ教育上ノ知識ハアリマセスガ、其ノヤリ方ニ無理ノアルコトダケハ、確ニ常識ニ於テ分ツテ居ル、先ヅ七歳ニナルト學校ニヤル、子供ニハ御承知ノ通り早熟ナノト晩成ナノトアルニ拘ラズ、ソレ等ニ對シテ劃一的ナ教育ヲスル、而モ早熟ナ者ヲ標準ニスルカ、中間ヲ標準ニスルカ、晩成ヲ標準ニスルカト言ヘバ、大抵ハ中間カラ早熟ノ方ヲ標準ニシテ學問ヲ獎勵シ、子供ノ智慧ヲ絞ツテ行クノデアリマス、大臣ハ之ヲ如何ニ御考ニナツテ居ルカ知リマセスガ、私ノ見ル所デハ、親ト先生ト片輪ノ子供ヲ拵ヘテシマフ、一例ヲ舉ガマス、ト、能ク父兄ガ學校ヘ行ツテ先生ニ言フニハ、私共、子供ハ身體ガ弱イカラ、「マラソン」ヲ餘計ニヤラセナイデ賞ヒタイトハ言ツテ來ルガ、私ノ子供ハ頭腦ガ惡イカラ成ダケ教ヘナイヤウニシテ吳レト云フコトヲ依頼シテ來ル親ハナイ、弱イ子供、頭腦ノ發達セヌ子供ニ「マラソン」ヲサセタリ、餘計教ヘタリスルカラ、體位ノ上ニ非常ナ影響ヲ及ボシテ來ルト思ツテ居ル、又此ノ間上級學校ニ入レル爲ニ試験勉強ヲサセタリ、有ユルコトガ影響シテ來ルノデアル、是ハ無

論文部省トモ御相談ニナリマセウガ、將來モズツトアア云フ小學教育ノ制度、即チ年齡ガ來レバ、劃一的ニ教ヘルト云フ制度ヲヤツテ行カレルナラバ、私ハ努力ノ割合ニ其ノ效果ハナイト思フ、尙ホ青年學校ニ付テ見マシテモ、成程知識ヲ與ヘルコトハ宜シイガ、其ノ反面ニ體力ヲ傷メルコトモ考ヘナケレバナリマセス、好キナ事ヲヤレバドンナニヤツテモ身體ハ疲レスモノデゴザイマスガ、先ヅ仕事ヲスルヨリ本ヲ讀ムガ悲シイト云フ人間モアルノデアリマスカラ、サウ云フ人ニ適應セザルヤウナ普通學科ヲ教ヘルコトニナリマス、折角青年學校デ體位ヲ向上セシメヨウトスルノニ、ソレト反對ナ結果ニナツテ來ルノデアリマス、現ニ私共ノ方デ學校ヲ調べ見マス、上級學校ヘ行ク子供ト、上級學校ヘ行カズニ廢メル子供トデハ、體育ニ著シイ強弱ガアルノデアリマス、上ヘ行ク者ハ洵ニ氣ノ毒ナル教育ヲ與ヘマスルガ爲ニ、遂ニ發育ヲ妨ゲラレ、健康ヲ害スル、此ノ點ニ付テハ十分御考慮ヲ願ヒタイ、厚生省ノ仕事ハ中途カラノ仕事デアルカラ、極メテ不合理ナ結果ヲ來シハセヌカと思フガ、大臣ノ之ニ對スル御意見ヲ承リタイト存ジマス

○廣瀨國務大臣 御心配ノ點ハ洵ニ御尤ニ存ジマス、厚生省ノ仕事ハ體力バカリデハ無論ナイノデアリマシテ、モツト廣イノデアリマス、ソコデ體力ノ問題ニ觸レテ、學校教育トノ關係カラ御質疑デアリマスガ、其ノ點ニ付テ私ノ考ヘテ居ル所ヲ申上ゲマス、私ノ方ノ仕事ハ、實ハ人ガ生レル時カラ學校ヘ入ルマデ、又學校ヘ入ツタ後モ文部省ト連絡ヲ取ツテ致シマス、學校ニ居ツテモ一面ハ學生デアリ、一面ハ國民デモアル譯デアリマスカラ、十分ニ連絡ヲ取ツテ進ム考デアリマス、ソコデ現在ノ學校教育ガ、餘リ負擔ガ過重ニナル點ガアルノデヤナイカ、是等ノ點ニ付キマシテハ、文部省ニ於テモソレ、御研究ニナツテ居ル譯デアリマス、是等ニ付テハ文部省ガ中心ニナツテ、適當ナ體育ニ關スル策ヲ立テルヤウニナツテ居リ、又將來改善スベキ點ガアレバ改善セラレルコトハ勿論ダと思ヒマス、ソレカラ青年學校ニ付キマシテモ、是ハヤハリ文部省ガ中心ニナリ、體育ニ付テ學校トシテノ體育ヲ考ヘル譯デアリマスガ、此ノ青年學校ニ付テ現ニ問題ニナツテ居リマスル此ノ法律ヲ出シマスル趣旨ハ、今ノ御話ノ點、詰リ御心配ニナツテ居ル點、即チ工場ニ働キ或ハ鑛山ニ働ク者ガ、青年學校

デ又非常ニ重イ負擔ヲ受ケルト云フヤウナコトデハ、遂ニ心身共ニ過勞ニ陥リマシテ、唯健康ダケノ問題デナク、教育トシテノ效果モ舉ガ得ラレナイコトニナル譯デ、ソコデ今ノ御心配ノヤウニ、餘リニ重イ負擔ニナラヌヤウニ、此ノ青年學校ニ就學ヲスル者ニ付テモ、工場或ハ鑛山等ニ働イテ居ル者ニ付テハハリ就業時間ヲ適當ニ制限ヲシテ、サウシテ心身ノ保護ヲ圖ル、斯ウ云フヤウナ趣旨デ此ノ法ヲ出シテ居ル譯デアリマス、御心配ノ點ニ付テハ私共モ全く同ジヤウニ感ジマス、此ノ點ニ付キマシテハ文部省ニ於テモ研究ヲ致シテ居リ、又私共トシテモ研究スベキ點ガアルト思ヒマス、今回提案シテ居リマスル今ノ法律案ハ其ノ一部ノ現レトシテ出テ居ルヤウナ次第デアリマス

○森岡委員 少シ間ガ切レタコトニナリマシテ、甚ダ……、先程ノ問題ニ還リマシテ、此ノ宣傳ノ方法ニ付テノ問題デアリマスガ、私ハ、「パンフレット」ヲ出ス、或ハ學校アタリヘサウ云ツタヤウナモノヲ配付シ、又地方ノ體育官ノヤウナ方々ヲ寄セテ色々講ゼラレ、或ハ講演會ナドヲ開クト云ツタヤウナコトハ、無論相當效果ガアルト考ヘルノデアリマス、併シ又組織ニ依リニアラズンバ

徹底スルコトが出来ナイト云フコトモ分ル
ノデアリマスガ、政府ハドウ云フモノカ映
畫ニ對スル考ヘ方ガ私ハ少シ徹底ヲ缺クノ
デヤナイカト云ツタヤウナ感シガスルノデ
アリマス、映畫ガ如何ニ人間ノ直覺力ニ戀
ヘテ、極メテ端的ニ實感的ナ一ツノ體驗ニ
ナルカト云ツタヤウナコトハ、是ハモウ何
人モ異論ノナイ所ダト思フ、斯ウ云フ立派
ナモノガアルニ拘ラズ、餘リ利用サレテ居
ナイ、偶々利用サレテ居ルト云フト極メテ無
味ナ、何ト言ヒマスカ一寸モ色モ艶モナイ
ヤウナ科學的ナモノダケノ羅列ト云ツタヤ
ウナ形ニナツテ居ルノデアリマス、私別ニ
映畫ノ方ヲ研究シテ居ル譯デモ何デモナイ
ノデアリマスガ、唯此ノ値打ヲモウ少シ買
ツテ戴キタイト云フ意味デ申上グルノデア
リマス、是ハモウ少シ興味ノアル形ノ映畫
ト致シマシテ、其ノ間ニ今ノ日本ノ國民ノ
體育或ハ全般的ノ衛生上ノ施設、サウ云ツ
タヤウナモノガ、海外ノ文化的ナ國ト比較
致シマシテ、如何ニ劣ツテ居ルカ、サウ云
ツタヤウナコトガ能ク納得ノ出來ルヤウナ
「フィルム」ヲ作りマシテ、サウ云フヤウナ
モノヲ、モット多額ノ金ヲ入レマシテ、拵
ヘ上ゲテ、サウシテ國民ニ之ヲ普及スルノ
デナケレバ、ドウモ先程樋口サンカラモ御

話ノアリマシタヤウニ、有ユル要求ガ多クナ
ツテ行ツテ、サウシテ國民ハ自己ノ體位ガ
漸次劣ヘテ居ルト云フコトヲ意識シナイト
云フヤウナ形ニナツテ居ル、此處ヲハツキ
リト今認識セシメル時ナンデス、此ノ時期
ヲ逸スルトヤハリズルノニナルノデス、
此ノ意味ニ於テ私ハ厚生省ニ於テ、先程御
話ノアリマシタ審議會ヲ作ルトカ、色々ナ
調査ヲヤルノダト云フ、其ノ中ニ勿論入ル
コトト思ヒマスガ、審議會ト云フモノハド
ンナモノカト云フト、政治上ノ責任ノ回避
ノ場所ノヤウニ今マデハ大體ナツテ來テ居
ルヤウニ考ヘラレ、無論實明ナル廣瀨厚
生大臣ハサウ云フ意味デ、御設ケニナツタノ
デヤナイト思ヒマスケレドモ、サウ云フヤ
ウナ施設ニ金ヲ掛ケルヨリモ、私ハ端的ニ
民衆ニ戀ヘル價值ノ多イ「フィルム」ヲヤウナ
モノニ金ヲ入レテ、サウシテ徹底的ナ宣傳
ヲヤツテ戴キタイト云フ希望ヲ持ツテ居リ
マス、之ニ對シテ舊來映畫ヲ用ヒラレテ居
リマスルナラバ、其ノ現況、將來之ニ對シ
テ御計畫ガアリマスナラバ、其ノ御所見ヲ
承リタイト思ヒマス

生方面ニ致シマシテモ、或ハ工場方面ニ致
シマシテモ色々保健ノ方面デモ致シテ居リ
マスガ、併シマダ十分デナイ、來年度
アタリデモ體力關係ノ色々ナ行政ノ上ニ於
テヤハリ「フィルム」ヲ用ヒヨウト云フ計畫
ハ持ツテ居リマスガ、思フヤウニ立派ナモ
ノガ作レルカニ付テハ心配ヲシテ居リマス、
體力關係ニ付テハ、來年度ハ特ニ此ノ方面
ニ付テハ豫算モ盛ツテ居ルノデアリマス、
大體ヤハリ御話ノヤウニ映畫ナドヲ用ヒテ
本當ニ民衆ニ能ク分ラシメル、本當ニ自覺
ヲ促スト云フコトニ努メナケレバナラスト
云フコトニ付テハ洵ニ同感デアリマシテ、
尙ホ將來モ出來ルダケ努メテ見タイト思フ
ノデアリマス

○森田委員 ソコデ此ノ青年ノ體育向上ノ
一ツノ方法ニ付テ御伺致シタイノデアリマ
スガ、是ハ體力局長又ハ大臣ドチラカラデ
モ結構デゴザイマスカラ然レバ御答辯戴
キタイト云フノハ、日本ノ國ノ今ノ體育
ノ大雜把ナ目標ト云フノハドウ云フコトニ
ナツテ居ルカ、是ハ嚴密ニ考ヘラレタ方々
ハ別デス、唯漠然トドウヤレバ身體ガ丈夫
ニナルノダト言ヘバ、直グ體操ヲヤレバ丈
夫ニナルノダト云フコトハ國民ノ常識ニナ
ツテ居ルノデス、運動ヲヤレバ丈夫ニナル、
ソコデ嚴密ニ考ヘレバソナ馬鹿氣タコト
ハナイノデス、運動シタカラト云ツテ丈夫
ニナル譯ハナイ、體操ヲヤルカラト云ツテ
丈夫ニナル譯ハナイ、ソレハ一ツノ方法ニ
過ギナイ、所ガ漠然トサウ考ヘル、ソコデ
運動ノ極致ハ一體何處ニアルノカト云フ
ト、今ノ日本ノ國ノ中心目標ハ明治神宮デ
行ハレル競技會ガ中心ニナツテ居ルト、私
ハ斯ウ見ル、ソコデ競技ニ依ツテ優等ヲ取
ツタ「メダル」ヲ貰ツタト云ツタヤウナコト
ガ中心ニナル、一ツノ體育ノ目標ナンデス、
此ノ爲ニドレダケノ人々ガ犠牲ニナツテ居
ルカ分ラヌ、併シ一般ノ人ハ犠牲ニナツテ居
ル半面ヲ見ナイデ、輝カシイ優勝旗ヲ擔ツ
テ歸ル人々ノ姿ノミヲ見テ居ル、此處ヲ私
ハ相當——相當ドロコデハナイ、考慮シナ
ケレバナラスト私ハ思フ、色々生活上ノ根
本問題トカ、サウ云ツタコトモアリマセウ
ガ、私ハ茲ニ局限致シマシテ競技ニ對スル
弊害ヲ中心ニ御伺致シタイノデアリマス
ガ、要スルニ選手ヲ中心トセル所ノ體育デ、
他ノ一般ノ者ノ追隨シ能ハザル幾多ノ犠牲
者ガ存在スルト云フ半面ヲ當局ハ一體ドノ
程度マデ認識シテ居ラルルノデアルカ、例
ヘバ或ル一ツノ中學校或ハ青年團ト云フヤ
ウナモノガ中心ニナツテ此ノ競技ヲヤルト

云フコトニナリマスルト、一體此ノ人ハ競技ニ適スル體位ヲ持ツテ居ルノダカ何ダカ分ラナイ、唯ヤリタイト云フ者ヲ選ビ出シテ非常ニ無理ナコトヲ強ヒテヤツテ居ル、其ノ結果ドシ、倒レテ、其ノ中カラ或ル特別ナ者ダケガ拔擢サレテ、ソレガ集ツテ色々ノ競技ヲ行フ、是ハ國民ノ體育、鍛鍊ト云フ點カラ見ルト有意味デス、其ノ氛圍氣カラ起ル身體ヲ丈夫ニシナケレバナラナイト云フ一ツノ機運ヲ作興スル意味ニ於テ、非常ニ大切ナ使命ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ私ハ否定シマセヌガ、其ノ一面今申上ダタヤウニ非常ナ犠牲者ノアルト云フコトヲ、親心ヲ以テ學校當局者、或ハ其ノ衝ニ當ツテ居ル方々ハ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、此ノ點ニ付テ、選手制度ノ弊害ト云フモノ——選手ガ學校卒業後果シテ長生キシテ居ルカドウカ、サウ云ツタヤウナコトニ對シテドノ程度マデ一體御調査ナサツテ居リ、如何ナル資料ガオアリナサルカ、又サウ云フヤウナ弊害防止ノ爲ニ厚生省デハ如何ナル御對案ヲ御持チナサルカ、其ノ點ヲ御伺致シマス

○廣瀬國務大臣 御話ノヤウニ選手ト云フコトニ餘リ重キヲ置ク結果色々弊害ヲ生ジ、又犠牲者ヲ生ジテ居ルト云フコトハ私

共モ能ク之ヲ認メテ居リマス、今日明治神宮ノ體育祭ヲ厚生省ニ於テ致ス、政府ガ此ノ仕事ニ當ルニ付キマシテハ、是等ノ點ニ付テハ非常ニ考ヘテ居リマス、現ニ體育運動審議會等ノ特別ノ機關ニ意見ヲ聽キマシテ、從來ノヤウニ徒ニ選手制度ニ陥ツテ弊害ヲ生ズルト云フヤウナコトノナイヤウニ十分ニ注意ヲ致ス積リデアリマス、大體明治神宮ノ運動ニ付キマシテハ、團體的又訓練的デアリ、選手制度ノ弊害ニ陷ラスヤウニスルト云フヤウナ建前ヲ執ツテ進ム方針ヲ以テ、色々其ノ方面ノ有力者ニ意見ヲ伺ツテ居ル譯デアリマス、厚生省トシテハ犠牲者ニ關スル詳細ナ資料ト云フヤウナモノニ付テ未ダ茲ニ申上ゲル程度ノモノハ持ツテ居リマセヌガ、唯主義トシテ、私共ハ今ノ御話ノヤウニ、選手制度ノ弊害ヲ除去スル、斯ウ云フコトニ付テハ全く同感デアリマス、是ハ私ノ方ノ色々運動ノ獎勵ニ於テハ、無論全體ヲ向上サセ、心身共ニ立派ニ育テ上ゲルト云フ建前デ進ム豫定デアリマス

○森田委員 今ノ御話デスト、注意シマスト云フコトニ結局歸著シ、何トカ方法ヲ講ジマセウト云ツタヤウナコトデスガ、何トカ方法ヲ講ジマセウデハ一寸困ル問題ダト

思フノデアリマス、モウ是ハ何十年來言ハレテ來テ居ルコトデアリマシテ、入學試験準備ノ爲ノ豫備教育ヲヤル弊害ト、ソレカラ身體ノ方デハ選手制度ノ弊害ト云フヤウナモノハ多年言ハレテ來テ居ル事柄ナノデアリマス、此處ハ今嚴密ナ資料ニ基キテ斯ウ云フヤウナ方針ガオアリニナルカト云フヤウナコトヲ私ガ御尋スルノハ、私ノ方ニ無理ガアルカト思ヒマスカラ御尋致シマセヌガ、何トカ此ノ目標トシテハ斯ウ云フ方針ニ進ンデ行キタイト云フ具體的ナ狙ヒ所ヲ捉ヘテオイデゴザイマシタラ、其ノ點ヲ御伺致シタイ、斯ウ云フ方向ニ進ンデ行ツテ之ヲ抑制シタイト云フヤウナ具體的ナモノガゴザイマシタラ、ソレヲ御伺致シタイト思フノデアリマス

○佐々木政府委員 體育ノ狙ヒ所ハ、全國民ノ心身ヲ健全ナモノニシヨウト云フ所ニアルト云フコトハ、是ハ大臣ガ仰セラレタ通りデアリマシテ、其ノ具體的ナ方策トシテハ、色々考ヘテ居リマスガ、來年度ノ豫算ノ中ニ、國民體操ヲ獎勵スル、體操ハ一番普遍的ナ合理的ナ體育運動デアリマシテ、之ヲ制定シテ國民一般ニ普及セシメヨウト云フ計畫ヲ立テテ居リス、ソレカラ運動競技ノ獎勵ニ付キマシテハ、只今大臣

カラ申サレマシタ通り、成ベク選手制度ノ弊害ヲ除去スルヤウニ、匡正スルヤウニヤツテ行キタイト云フ考デ居リマス、其ノ具體的ノ方策ト致シマシテハ、現在明治神宮國民體育會ノ實施方法ニ付キマシテ、體育運動審議會デ練ツテ居リマス、ソレガ何レ決定サレマスト御希望ニ副フヤウニナルノデハナイカト思ヒマス

○森田委員 大體諒承致シマシタガ、是ハ私ノ意見ニナルカモ知レマセヌデスガ、私此ノ點ヲ一ツハツキリト握ツテ戴キタイト思フ御願ガアルノデス、ソレヲ申上ゲマス、ソレハ從來小學校アタリデ、或ハ中學校デモサウデスガ、教育ト云フモノハ個性ニ適應シナケレバナラヌモノダト云フコトハ、モウ道破サレ盡シタ一ツノ原理ニナツテ居ル、要スルニ選手ハ惡クナイノデス、私ハ選手ガ惡イト申上ゲルノデハナイノデス、選手ニナルト云フコトハ一ツノ鍛鍊デス、鍛鍊デスカラ、本當ノ力、本當ノ素質ヲ持ツテ居ツテ、ソレヲ鍛鍊スルト云フコトハ私ハ體育ノ本當ノ窮極ノ目標ニ合致スルヤリ方ダト思フ、デスカラ選手ト云フモノガ選バレテ其ノ素質ニ相應シイヤウナ形ニ鍛鍊サレテ行クナラ、ウント獎勵シテ行ツテ宜イコトニ間違ヒナイ、唯私共

ガイケナイト言フノハ、選手タルニ相應ハシカラザル素質ヲ持ツテ居ル者ガ、偶、自分ガ心デ好キダト云フノデ選手ニナツテ行ツテ健康ヲ害スルト云フコトニナル、ソレガイケナイト言フノデス、要ハ其ノ人ノ體位、身體ノ素質ガ果シテ選手タルニ適スルヤ否ヤト云フコトヲ檢定スルコトガ先ヅ第一ニ大事ナコトデハナイカト私ハ見ルノデアリマス、デアリマスカラ、從來小學校ニ於テ個性適應ト云フコトヲ道德力何カノ上カラノミ論ジテ居ツタノデアリマスガ、今度ハサウデハナク、體育上ノ個性ト云フモノヲ檢定スル必要ガアルト思フ、體育上ノ個性ヲ檢定シテ、ソレガ果シテ選手タルノ素質ヲ有スルヤ否ヲ見極メテ、選手タルノ素質ガアルト云フナラバ、是ハ鍛鍊ヲ加ヘテ、其ノ人ノ全能力ヲ發揮スルヤウニ鍛鍊シテ行クト云フコトニナラナケレバナラス、デアリマスカラ私ノ御願致シタイ點ハ、要スルニ人間ト云フモノハソシナニ完全ナモノデハナイノデ、精神的ニモ肉體的ニモ大體不完全ナ人間ガ多イノデアル、ソレガ調和サレテ、心身ノ調和ガアツテ、其ノ人ノ飽和點ニ達スル所マデ鍛鍊シテ行クト云フノガ教育デス、助長行政ノ目標ハソコニナケレバナラス、厚生省ノ體位向上ハソコニ目

標ヲ置カナケレバナラスト思フ、サウシテ置イテ鍛鍊ヲ加ヘル、ソコノ關門ハト云フト、體育上ノ個性檢査、之ヲハツキリト御認識ノ上鍛鍊ト云フコトニナラナケレバ本當ノ體育ニハナラナイノダ、斯ウ云フヤウナ考ヲ私ハ持ツテ居ルノデス、ソコデ私ノ御願申上ゲル筋ハ大體是デ御分リニナツタト思フノデアリマスガ、私ハモウ日本ノ體育上ノ原理ト云フモノガ樹立サレテ宜イ時期ニナツテ居ル筈ダト思フ、只今體力局長ノ御話ニ依リマス、國民體操ト云フモノヲ拵ヘテ全般的ニト言ヒマスガ、是モヤハリ鍛鍊ヲ中心ニシタモノニナルト思フ、鍛鍊以前ノモノヲ私ハ一ツ御考置キ願ヒタイ、體操ト云フヤウナ漠然トシタ日本ノ國民ノ常識ト同ジヤウナ形デ行キマス、ヤハリソレハ本當ノ日本のモノデハナイト思フ、大體外國ニ於テハ色々ノ條件ガアリマセウガ、競技、體操——體操ト言フヨリモ曲藝ト言ツタ方ガ適切カト思フヤウナコトヲ、外形ノ美ヲ見テ、サウシテ之ニ倣ツテ行カウト云フヤウナコトニナル、ソレニ多少加工シタモノガ日本ノ國民體操ト云ツタヤウナモノニナルダト云フノデアルト、目標ハヤハリ鍛鍊ニアル、鍛鍊ニアルノデハ先程申上ゲタヤウナ弊害ヲ除クコトハ出來ナ

イ、斯ウ云フヤウナ考ヲ私ハ持ツテ居ル、ソコデ外國ノ模倣ヲ廢メテ、然ラバ日本のナル體育トハ果シテ何カ、斯ウ云フコトニナリマス、ソレハ結局肉體ハ精神ニ聽從スベキモノダ、精神ト肉體トノ調和ト云フコトガ中心ニナツテ來ルノデアルカラ、私ハ一ツノ本當ノ體育ノ目標ノ方針トシマシテハアノ體操以外ニ禪、靜坐、或ハ西式ト云ツタヤウナモノガアルサウデスシ、其ノ他色々日本流ノモノガアルヤウデアリマスガ、アア云ツタヤウナ内臟ト四肢ノ調和、禪ノヤウナ精神ト肉體トノ調和、靜坐ト云ツタヤウナモノ、サウ云ツタヤウナモノガ中心トナツテ眞ニ心身ノ調和ト云フモノガソコニ出來上ツテ、其ノ上ニ日本のナ徹底的ナ鍛鍊ヲ加ヘテ行ク、大體此ノ段階デ行クノデナケレバ邪道ニ陥ルノデハナイカト私ハ思フ、ソコデ厚生省トシテハ私ガ大體今輪廓ヲ申上ゲタヤウナ形ニ於テ日本の體育原理ト云フモノヲハツキリ發見ナサツテ、之ヲ指導原理トシナケレバヤハリ西洋ノ模倣ト云フコトニナルト私ハ憂フル、此ノ點ニ付テ厚生省ノ御方針ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○廣瀬國務大臣 非常ニ根本的な重要ナル問題デアリマス、是ハ私ノ方デモ現ニ國民ノ體力ノ管理制度ト云フヤウナコトニ付テモ今ノ御話ノヤウナ點ニ觸レテ考ヘテ進ム積リデアリマス、體力ノ管理制度ト一言ニ申シマシテモ、内容ハ非常ニ複雑デアリマスガ、國民ノ身體ノ現狀ヲ能クハツキリサセテ行クト云フ爲ニ國民ノ體力ヲ調査ヲスル、ソレカラ又他面ニ體力ノ檢定ト云フヤウナコトニ付テモ現ニ來年度モ之ヲ實行致シテ見ヨウト思ツテ居リマス、ソレデ國民ノ體力ノ實際ノ狀況ト云フモノヲ能ク明ニシ、サウシテ心身共ニ一體トシテ調和ノ取レタ人ヲ作ルト云フコトニ付テ御話ノヤウナ點ニ付テハ、最善ノ注意モシ努力モシテ進ミタイト思ヒマス、現在此ノ方面ニ向ツテ進ム方法トシテハ體力管理ノ制度デアルトカ、或ハ體力檢定ノ方法デアルトカ云フコトモ一ツノ有力ナ方法デハナカラウカ、サウシテ徒ニ外國ノ模倣ニナラスヤウニ、純粹ニ日本式ニ考ヘテ立派ナ人間ヲ作ルト云フコトニ付テ努力スルコトニ付テハ遺憾ナキヲ期シタイト思ヒマス

○森田委員 大體ニ於テ私平素心配シテ居リマシタコトハ既ニ當局ニ於テモ十分慎重ニ御考ニナラレテ居ルノデアリマシテ、一一致致シマシタコトハ私ノ非常ニ欣快トスル所デアリマス、唯併シ斯ウ云フ席上デ話シタコトハ兎角省ヘ御歸リニナリマス、現

實のナ問題ガ起ル都度、其ノ方面ニ心ヲ奪ハレテ根本的ナ點ヲ忘レラルル傾向ト云フモノヲ、私等ハ舊來ノ行政省ノ間ニ散見スルコトガ出來ルト思ヒマスカラ、ドウカ厚生省ハ新シク出來マシタダケ、分化ニ陥ルコトナク統一ヘ統一ヘ、サウシテ分化ヘ徹底ナサルト云フ形御進展ナサレンコトヲ御願致シマシテ、私ノ厚生省ニ對スル質問ヲ終リマス

次ニ文部省關係ニ付テ御尋致シマス、私今日荒木文部大臣ニ教ヲ乞ヒタイコトガ相當澤山アルノデゴザイマスルガ、併シ大臣モ大變御急ギノヤウデゴザイマスカラ、要點ダケヲ御伺致シタイト思ヒマス

私ハ斯ウ考ヘテ居ルノデス、日本ノ明治維新以來採ツタ教育ノ方針ト云フモノハ己ヲ忘レタ——己ヲ忘レタト云フノハ善イ意味ノ己ヲ忘レタコトデナク、我ヲ忘レテ外ナル生活ヲ如何ニスベキカト云フコトニ追ハレテ今日マデ至ツタモノデアル、隨テ己ノ行ク道ト云フコトヲ忘却シタ一大缺點ガアル、今日日支事變ノ如キヲ起スヤウナコトニナツタコト、サウシテ之ヲ一ツノ國難トシテ吾々ハ見テ行カナケレバナラナカツタコトハ、要スルニ國トシテノ我ノ行ク道ト云フコトヲ忘レタ、詰リ哲學的ニ言ヘバ

主體性ノ忘却ト云フヤウナ所ニ日本ノ教育ノ缺陷ガアツタヤウニ私ハ思フ、初メテ今回斯ウ云フ國難ニ際會致シマシテ、我トハ何ゾヤト云フコトヲ大反省シナケレバナラナイ一ツノ時期ニ際會シタ、而モ此ノ國難ヲ退ケテ、サウシテ本當ニ日本ノ民族ガ理想トシテ居ル世界ヲ實現スル爲ニハ、日本のナ「イデオロギー」、サウシテソレハ日本のデア

ルト同時ニ全人類ニ妥當スルモノダト云フ指導原理ガ立タナイ限りハ、私ハ日本ノ民族ガ理想ニ向ツテ勇躍スルヤウナ生命觀ヲ内カラ呼び覺マスコトハ出來ナイヤウナコトニナルデヤナイカト實ハ思フ、ソレヲ日本ノ國ハ今望ミツツアリマス、何人ガ之ニ答フルカト云フコトガ問題デアル、文部省ニ於テハ此ノ點ニ付テ若干ノ御反省ガアラレタモノノヤウデアリマシテ、此ノ國家ノ指導原理ノ根本的「イデオロギー」樹立ノ爲ニ、國民精神文化研究所ナルモノヲ御設ケナサツテオイデノヤウデアリマス、果シテ此ノ國民精神文化研究所ニ於テ私ガ今望ミマスヤウナ「イデオロギー」ガ樹立サレテ居ルデアリマセウカ、サレテ居ルト致シマシタナラバ、ソレハ果シテ泰西ノ文化ヲ渾然タルモノトシテ統一シ、全人類ニ妥當スルヤウナ形ニ於ケル價值性ヲ持ツタモノトシテ現ハレテ

居ルデアリマセウカ、其ノ點ニ付テ研究ノ結果如何ナル所ニ行ツテ居ルモノデアアルカト云フ點ヲ御伺致シタイト思ヒマス、尙ホ之ニ對シテ大臣ノ御所見ヲ拜聽スルコトガ出來レバ幸ヒダト存ジマス

○荒木國務大臣 明治教育ガ今御話ニナリマシタヤウナ趨向ヲ部分的ニデモ取ツタト云フコトハ、當時ノ鎖國ヲ破ツテ新ナル日本ノ實力ヲ養ハントスル爲ニ、國トシテ已ムヲ得ザルト認メラレル點ガ多クアラウト存ジマス、併シナガラ御承知ノヤウニ明治二十三年ニ教育ニ關スル御勅語ヲ賜ハリマシテ、我國ノ教養ノ根幹ヲ御示シニナツタノデアリマス、爾來之ヲ基礎トシテ今御話ニナリマシタヤウナ日本ト云フモノヲ十分意識シテ、而モ國際的情勢ニ向ツテ違算ナキヲ期スルヤウナ教育ヲシナケレバナラヌト云フコトニ各方面共ニ努力ヲシ來ツタノデアリマス、併シナガラ實績ニ於テハ甚ダソレト遠キモノガ間々アルコトヲ認メマスコトハ、又大勢ニ於テ必ズシモ御聖旨ノヤウニ赴イテ居ラザル方向ノアルコトヲ感じマスコトハ、洵ニ吾々トシテ恐懼ニ堪ヘナイ所デアリマス、先ヅ第一ニ此ノ點ヲハツキリ意識致シマスナラバ、只今御話ノ根本ガ成立ツカト思ヒマス、國民精神文化研究

所モ此ノ目的ヲ發揮致シマスガ爲ニ設ケラレタモノデアリマスガ、教學局ト相俟ツテ此ノ點ニ對シテ取敢ズ基礎ヲ研究モシ、ソレヲ普及ニ向ツテノ淵源トシテ今日活動シテ居ルノデアリマス、併シナガラ漸次時代ハ日支事變ニ依リマシテ、日本ノ位置又ハ日本ノ直チニ爲スベキ使命ガ非常ニ重加セラレタ爲ニ、此ノ新ナル情勢ニ對シテノ任務達成ノ爲ノ人物養成ニ對シテハ、教育勅語ニ御示シニナリマシタ徳目ヲ涵養スルト共ニ、此ノ時局ヲ能ク認識ラシテ東亞新秩序ノ建設、新文化ノ創造、更ニ日本ノ世界的地位ノ向上ニ伴フ世界的日本ノ使命ト云フモノニ對シテ、一段ト深く覺悟ヲ進メテ大ナル氣宇ヲ持チ氣魄ヲ持ツテ、而モ今御話ニナリマシタ何レニモ通ズル、即チ古今東西ニ謬ラズ、悖ラザル國民ノ養成ガ今日必要デアルト存ジマス、其ノ爲ニ文化研究所ニ於キマシテモ、此ノ後ニ於テハ更ニ此ノ時局ニ對スル認識ヲ十分ニ致シマシテ、今日ノ缺陷デアアル動モスルト鎖國的、排他的ニ甚ダ偏狹ナコトガマダ殘ツテ居リマスコトヲ更ニ大キク致シマシテ、八紘一宇、即チ世界ニ對シテ現政府ガ屢、方針トシテ示サレマスル各民族、各國家ヲシテ處ヲ得セシムベキ包容力ノ大キナ、裕トリノアル

床シイ日本人ヲ茲ニ養成スルコトガ今日ノ最モ急務デハアルマイカ、御勅語ノ御聖旨ヲ茲ニ貫徹スルコトガ今日ノ重要ナ使命デナカラウカ、斯ウ存ジマシテ教學局及ビ國民精神文化研究所ナリ、更ニ進ンデハ省内ノ斯ウ云フ方面ニ對スル強化ヲ圖ツテ、此ノ趣旨ヲ貫徹シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、國民精神文化研究所、其ノ他ノ細部ノコトハ政府委員カラ御説明申上ゲマス

○阿原政府委員 ソレデハ私カラ細部ニ付キマシテ申上ゲマス、只今大臣カラ御話ガアリマシタヤウニ、國民精神文化研究所ハ昭和七年ニ設立サレマシテ、其ノ當時ノ社會情勢カラ考ヘマシテ、學界方面ニ相當共產運動ガ盛デアリマシテ、洵ニ遺憾デアリマシタガ、相當職員方面ニモ起訴關係ノ者ガ出マシテ、ドウシテモ是ガ對策ヲ立テナケレバナラス、ソレニ只今御質問ニアリマシタヤウニ、所謂我國ノ主體性ト云フモノノ缺乏、斯ウ云フモノヲ何トカシテ呼ビ覺シテ、サウシテ此ノ重大ナル秋ヲ乗切ラナケレバナラスト云フヤウナコトデ、國民精神文化研究所ガ設ケラレタノデアリマシテ、大體日本ノ國民精神文化ト云フモノヲ研究致シマシテ、此ノ研究ヲ通ジマシテ皇道ノ宣明デアルトカ、或ハ皇道使命ノ確立、斯

ウ云フモノヲ期サウト云フコトデ、大體此ノ研究所ガ出來タノデアリマス、爾來此ノ精神ニ基キマシテ研究所ハ一方ニ於キマシテ研究部ヲ設ケマシテ、其處デ所員ガ研究致シマス、ソレハ個別ニ色々學科ニ依リマシテ研究スル以外ニ、所謂綜合研究ヲヤリマシテ、綜合ノ實ヲ擧ゲタイト云フコトデ研究シテ參ツテ居リマス、其ノ研究ノ結果ハ毎年大學ノ紀要ニ當ルベキ「國民精神文化」ト云フモノヲ出版致シマシテ、之ニ依リマシテ所員ノ研究ノ結果ヲ公ニ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙ホ又此ノ研究ノ結果ヲ廣ク普及致シマス爲ニ、各種ノ出版ヲ致シテ居リマス外ニ、中等教員ノ——言葉ハ惡ウゴザイマスガ、所謂再教育ト云フ意味ニ於キマシテ、此ノ研究ノ結果ヲ十分ニ中等教員ニ、普及シタイト云フコトデ、毎年半年バカリ各府縣カラ一名乃至二名ノ中等學校ノ教員ヲ選拔致シマシテ、之ヲ中央ニ集メマシテ教員ニ研究ヲヤリシテ居リマス、斯ウ云フコトデ段々參ツタノデアリマスガ、只今大臣モ御話ニナリマシタヤウニ、斯ウ云フヤウナ重大ナ時局ニ當面致シマシタノデ、唯鎖國のナ、狹イ日本のナモノダケヲ研究スルダケデハ不十分デアリマシテ、ヤハリモツト廣ク世界ノ日本トシテ立ツベキ

人材ノ養成、サウ云フ方面ノ研究モ十分ニ進メテ行キタイト云フコトデ、現在折角努力シテ居ルヤウナ狀態デゴザイマス、尙ホ又斯ウ云フ事柄デアリマスカラ、サウ急ニ吾々ノ本當ニ期待スルヤウナ成果ヲ望ムコトモ中々困難デアリマスケレドモ、ソレハ十分教學局ト連絡致シマシテ、十分ナル努力モ致シマスシ、又將來人的構成モ十分ニ考ヘマシテ遺憾ナキヲ期シタイ、斯ウ云フ風ナ考デ居ル次第デゴザイマス

○森田委員 大體ニ於テ諒承致シマスガ、唯私一點ダケ簡單ニ念ヲ押シテ置キタイコトガアルノデアリマス、ソレハ國民精神文化研究所ト云フモノヲ國民ノ側カラ見、一般「インテリゲンチヤ」ノ側カラ見ルト、一ツノ官學ノ製作所ノ感ヲ以テ迎ヘラレテ居ル、是ハ先程大臣ガ言ハレタヤウニ國內ニダケ良クトモ、全人類ニ妥當スルモノデナケレバ根本指導原理トシテハ問題ニナラナイ、此ノ國民精神文化研究所ノ設ケラレタ根本動機ハ「マルクス」ノ克服ニアル、是ハ正ニ必要トシテハ其ノ通りデアル、而シテ今日全人類ニ妥當スル哲學トハ何デアルカト言ヒマス、要スルニ是ハ「マルクス」ヲ包攝シテソレヲ血トシ肉トナシ、更ニ我が皇道精神ト云フモノハソレヲモ包攝シテ全

人類ヲ包容スル實體價值ヲ持ツモノデ、此ノ哲學ガ明瞭ニナラナケレバイケナイ、隨テソコマデ來ナケレバナラス、今日ノ如ク國民カラ何かシラ徳川時代ノ朱子學ノ如キ、幕府ノ肩ダケ持ツテヤツテ居ルヤウナ風ノ誤解ヲ受ケル程度デハ私ハイカナイと思フ、何故サウ云フ誤解ヲ受ケルカト言ヒマス、私ハ此ノ國民精神文化研究所ナルモノノ構成ノ素質ニ此ノ根本原因ヲ見ルコトガ出來ルヤウナ氣持ガスル、私ハ是レ以上御説明申上ゲマセヌ、是ハ根本的指導原理ヲ定メル役所デアリマシテ、事務ヲ執ル役所デアリマセヌ、事務ニ堪能ナル人必ズシモ哲學者デハナイ、必ズシモ哲人デハナイ、此處ハ哲人第一主義デ行カナケレバ駄目ナ場所デアル、斯ウ見ラレル、然ルニ今日我國ノ哲學者ノ中ニ果シテ私が今要求スルヤウナ根本哲學ニ答フル人間ガ何人居ルカ、私ハ此處ニ名ハ擧ゲマセヌ、相當新進ノ方ガオイデニナツテ、何かシラ新ナルモノヲ建設シヨウト意氣込ンデ居ルコトハ私モ認メマス、認メマスガ、果シテソレニ答フルヤウナ價值ヲ持ツタ哲學ヲ述ベタ者ガ何人居ルカト言ヒマス、私が知ツテ居ル範圍デハ西田幾多郎博士ト田邊元博士ヨリ先ヅ外ニナイ——ナイト言フ

ト語弊ガアリマスガ、マア此ノ二人ニ指ヲ屈スルヨリ外ニナイ、然ルニ國民精神文化研究所ガ施設サレテ、本來ノ目的カラ離レテ安易ナル何カノ隠レ場所ノヤウナ形ニナツテ、斯ウ云フヤウナ目的ニ答フル素質ノ人ヲ此ノ中ニ採入レテ王座ニ据エテ、其ノ人等ニ十分ノ力ヲ發揮セシメル形ヲ執ツテ居ナイ、是デハ私ハ此ノ本來ノ使命ヲ果ス上カラ考ヘマシテ、果シテ適當ナル形デア

ルカドウカ疑ハザルヲ得ナイ、私ハ西田博士ト會ツタコトモアリマセス、田邊博士ト會ツタコトモアリマセス、會ツタコトハナイガ、私ノ知ツテ居ル範圍デハサウ云フ感じガスル、個ト全體トノ關係、永遠ト今トノ關係、私ハ西田哲學コソ本當ヲ言ヘバ世界ニ妥當スルモノノヤウナ感じガスル、聽ク所ニ依ルト、今度獨逸ニ於テモ之ヲ翻譯シテ行クカノヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、デアルカラ私ハ過去ノコトヲ云々スル者デハアリマセス、荒本文部大臣ニシテ眞ニ文部省ノ立場ニ於テ日本ノ國民精神指導ノ根本原理ヲ樹立シテ、之ヲ國民ニ示シテ、我ガ日本ノ思想ハ斯ノ如キ方向ヘ行カナケレバナライモノダト云フ指導者ノ立場ニ御立チナサル大自覺ガオアリニナリマシタナラバ、舊來ノ此ノ組織ニ大キイ改革ヲ加

ヘマシテ、人材ヲモツト網羅致シマシテ、眞ニ日本國家ノ求ムル新ナル哲學ノ生レルヤウナ御施設ヲナサル御覺悟ガオアリナサルカドウカ、此ノ點ヲ大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

ト思ヒマス
○河合委員 委員長、議事進行ニ付テ發言ヲ御許シ願ヒタイト思ヒマス
○野村委員 宜シウゴザイマス
○河合委員 私ハマダ議會ノ慣例法規等ニ付テ能ク知リマセスカラ、或ハ私ノ申スコトガ間違ツテ居ルカモ知レナイノデアリマスケレドモ、委員長ニ一ツ質シテ見タイト思ヒマス、實ハ私共ハ此ノ委員會ガ開會サレマシテカラ一度モ缺席セズシテ、ズツト出席シテ居ルノデアリマス、モウ既ニ荒本文部大臣ニ對シテ色々質疑ガ行ハレマシテ、直接ノ青年學校ノ問題以外ノ思想上ノ問題ニ付キマシテモ、相當議論ガ盡サレテ居ルノデアリマス、本日開會以來ノ狀況ヲ見テ居リマス、モウ既ニ此ノ委員會ニ於テ間接ニ議論サレタヤウナ點モ多々承ルノデアリマス、若シ最初ノ委員會カラ此ノ委員會ニ出席ナサツテ居ル方デアリマシタナラバ、能クソレハ御承知ノ筈ナノデアリマス、新規ニ委員變更ヲナサイマシテ、初メテ此ノ委員會ニ出テ來ラレマシテ、斯ウ云フ種類ノ質疑ヲナサルト云フコトハ、或ハソレハ無理カラスコトカト思ヒマスケレドモ、モウ會期剩ス所餘リ日ガナクシテ、此ノ委員會ハ本日一日ヲ以テ終ル

カ、ヤハリ文教ノ中樞トシテノ文部省、竝ニ此ノ管下ニアル所ノ各學業ノ間ニ於テ生レネバナラスト思フノデアリマス、今日既ニ此ノ點ニ付テハ、今御憂慮ニナリマシタヤウナ點ヲ十分ニ加味致シマシテ、今回ノ豫算ニ於テモ十分此ノ活躍ノ期スル爲ニ努力致シタノデアリマス、十分ニハ出來ナカツタノデアリマスケレドモ、此ノ方面ノ擴大強化ノ豫算モ既ニ成立致シテ居ルノデアリマス、更ニ進ンデ各學園ノ方面ニ向ツテモ、茲ニ進ムベク今回追加豫算ノ中ニモ其ノ點ヲ含メマシテ、全部舉ツテ其ノ方向ニ進ムベク今機運ガ熟シツツアツテ、既ニ其ノ施設ノ一端モ出來テ居ルノデアリマス、今御話ニナリマシタ西田博士等ノ哲學モ果シテソレダケデ宜シイカ、博士自身ノ御講述ニ依ツテモ、又接シテ御話ヲスルコトニ依ツテモ、御自身モマダ更ニ日本ト云フモノヲ主體トシテ世界ニ踏出ス所ノ哲學其ノ他ニ付テハ、確ニ深く、遠ク進ム必要アリト云フ御考モ拜承シタコトガアルノデアリマス、ソレヤ是ヤヲ合セマシテ、東亞新秩序ノ建設ヲ基礎トシテノ新文化ノ創造ニ向ツテハ、一段ト努力ヲシタイト思ヒマス、此ノ方面ノ強化モ實ハ今日期シテ居ル次第デアリマス、以上ヲ以テ御諒承ヲ願ヒタイ

○荒本國務大臣 文化研究所ノ最初ノ目的ガ、當時ノ混亂セル思想ニ對シテ先ヅ第一ニ清涼劑ニナツテ行クト云フ所ニ任務ガアリマシタ爲ニ、當初ニ於テハ日本ノ國體其ノモノヲ先ヅ明ニシテ國民ニ示スコトニ努力シテ參ツタノデアリマス、隨テ今御話ニナリマシタヤウニ、其ノ活躍ニ於テ世界的ニ何處ニモ通ズル所ノ大哲學、大理想、謂ハバ新文化ノ創造ト云フヤウナモノニハマダ足リナクハナカツタカ、又人的構成ニ於テモ不十分デハナイカト云フコトニ付テハ、ソコマデ十分手ノ伸ビテ居ラナカツタ點ハ今日認メザルヲ得ナイト思ヒマス、併シナガラ御承知ノヤウニ、今日マデノ努力ハアレダケノ組織ニ於テ、アレダケノ人的構成ニ於テハ涙グマシイマデノ奮闘ヲ續ケテ來タモノト私ハ認メルノデアリマス、併シ今日日獨文化協定、其ノ他各國トノ文化交流モ多クアリマスシ、世界的ニ新文化ノ創造ト云フコトヲ政府ガ銘ヲ打ツテ出マシタ以上ハ、茲ニ淵源トナルベキモノヲ何處ガ作ル

カ、ヤハリ文教ノ中樞トシテノ文部省、竝ニ此ノ管下ニアル所ノ各學業ノ間ニ於テ生レネバナラスト思フノデアリマス、今日既ニ此ノ點ニ付テハ、今御憂慮ニナリマシタヤウナ點ヲ十分ニ加味致シマシテ、今回ノ豫算ニ於テモ十分此ノ活躍ノ期スル爲ニ努力致シタノデアリマス、十分ニハ出來ナカツタノデアリマスケレドモ、此ノ方面ノ擴大強化ノ豫算モ既ニ成立致シテ居ルノデアリマス、更ニ進ンデ各學園ノ方面ニ向ツテモ、茲ニ進ムベク今回追加豫算ノ中ニモ其ノ點ヲ含メマシテ、全部舉ツテ其ノ方向ニ進ムベク今機運ガ熟シツツアツテ、既ニ其ノ施設ノ一端モ出來テ居ルノデアリマス、今御話ニナリマシタ西田博士等ノ哲學モ果シテソレダケデ宜シイカ、博士自身ノ御講述ニ依ツテモ、又接シテ御話ヲスルコトニ依ツテモ、御自身モマダ更ニ日本ト云フモノヲ主體トシテ世界ニ踏出ス所ノ哲學其ノ他ニ付テハ、確ニ深く、遠ク進ム必要アリト云フ御考モ拜承シタコトガアルノデアリマス、ソレヤ是ヤヲ合セマシテ、東亞新秩序ノ建設ヲ基礎トシテノ新文化ノ創造ニ向ツテハ、一段ト努力ヲシタイト思ヒマス、此ノ方面ノ強化モ實ハ今日期シテ居ル次第デアリマス、以上ヲ以テ御諒承ヲ願ヒタイ

ト思ヒマス
○河合委員 委員長、議事進行ニ付テ發言ヲ御許シ願ヒタイト思ヒマス
○野村委員 宜シウゴザイマス
○河合委員 私ハマダ議會ノ慣例法規等ニ付テ能ク知リマセスカラ、或ハ私ノ申スコトガ間違ツテ居ルカモ知レナイノデアリマスケレドモ、委員長ニ一ツ質シテ見タイト思ヒマス、實ハ私共ハ此ノ委員會ガ開會サレマシテカラ一度モ缺席セズシテ、ズツト出席シテ居ルノデアリマス、モウ既ニ荒本文部大臣ニ對シテ色々質疑ガ行ハレマシテ、直接ノ青年學校ノ問題以外ノ思想上ノ問題ニ付キマシテモ、相當議論ガ盡サレテ居ルノデアリマス、本日開會以來ノ狀況ヲ見テ居リマス、モウ既ニ此ノ委員會ニ於テ間接ニ議論サレタヤウナ點モ多々承ルノデアリマス、若シ最初ノ委員會カラ此ノ委員會ニ出席ナサツテ居ル方デアリマシタナラバ、能クソレハ御承知ノ筈ナノデアリマス、新規ニ委員變更ヲナサイマシテ、初メテ此ノ委員會ニ出テ來ラレマシテ、斯ウ云フ種類ノ質疑ヲナサルト云フコトハ、或ハソレハ無理カラスコトカト思ヒマスケレドモ、モウ會期剩ス所餘リ日ガナクシテ、此ノ委員會ハ本日一日ヲ以テ終ル

ト云フコトヲ私共ハ聞イテ居ルノデアリマス、
是ト關聯シタ國民ニ對スル教育トカ、或ハ
國家ノ大理想ト云フヤウナ大キナ問題モ結
構デアリマスケレドモ、先ヅ私共ノ質サン
トスル所ノモノハ、直接此ノ青年學校ノ時
間制ニ關シテ質シタイ數々ノ點ヲ持ツテ居
ルノデアリマスカラ、ドウカ其ノ點モ委員
長ハ御考慮下サイマシテ、サウ云フ風ナ質
疑ヲヤル時間ガ私共ニモ與ヘラレマスヤウ
ニ、議事ノ進行ヲ圖ツテ戴キタイと思フノ
デアリマス

○野村委員長 能ク分リマシタ

○森田委員 ソレデハアト二三點御伺シタ

イト思ヒマス、ソコデ御伺致シタイノハ、
先程私ハ、日本ハ日本ノ主體ヲ忘レタヤウ
ナ形ニ行ツタノガ根本的缺陷デアルト申上
ゲタノデアリマスガ、此ノ主體ヲ爲ス指導
ノ地位ニ立ツ者ノ組織ト云フモノモ亦極メ
テ低イ形ニ評價サレテ居ツタト云フコトモ
一ツノ事實デス、ソレハ何ヲ指スノデアル
カト云フト、日本ノ國ニ於テ師範學校ノ系
統ナルモノガハツキリシテ居リマセヌ、此
ノ先生養成ヲ具體的ナ目標トスル行キ方ガ
甚ダ粗雜ナ形デアツタト私ハ見ル、アチコ
チノ學校ニ於テ設ケラレテ居ル中等教員養
成ノ機關、或ハ大學デ先生ヲ目標トシタノ

デナク、偶、或ル專攻ヲヤツタ者ガ、他ニ仕
事ガナイカラ先生ニナルノダト云ツタヤウ
ナ形ノ先生ガ非常ニ多イ、是ガ詰リ日本主
體忘却、日本ノ指導者ノ地位ヲ忘却スル原
因ニナツテ、切實リノ先生ト云フ形デ進
デ來タモノデアル、ソレデアリマスカラ、
今日根本的ニ此ノ主體反省ノ時期ニ於テ、
師範制度ノ確立ト云フコトガ極メテ大事ナ
コトト思フ、私ガ先程申上ゲマシタ日本ノ
指導原理ニ基イテ、本當ノ人ヲ作ルト云フ
コトヲ具體的ナ目標トシタ師範大學、之ヲ
一ツ建設スル必要ガアル、ソコデ本當ノ教
育者トシテノ日本人、日本ノ指導者トシテ
ノ教育家、サウ云フモノヲ養成スルコトヲ
確立シテ置ク必要ガアルト思ヒマス、高等
師範ノ如キハソレニ倣ツタモノトシテ出來
タカモ知レマセヌガ、又サウ云フ目的ラシ
イガ、併シ果シテ私ノ申上ゲタヤウナ形ニ
ナツテ居ルカドウカノ疑ガアル、或ハ文理
科大學ガソレニ應フルモノトシテ置カレタ
カノヤウニモ聞イテ居ルノデアリマスガ、
果シテ他ノ大學トドレダケノソコニ差異ガ
アルカ、此ノ點ガ私ハ非常ニ大キイ問題ダ
ト思フ、デアリマスカラドウカ其ノ點ニ付
テ十分一ツ此ノ際ハツキリシタ見解ヲ文部
省ニ承ツテ置キタイト同時ニ、地方ノ師範

學校ヲ私ハ國立ニスベキダト云フ議論ヲシ
テ居ルノデアリマスガ、ソレハ今日ノ狀況
ヲ見マス、東京市ニ於テ現在八百十二
名ノ小學校教員ノ不足ガアリマス、日本全
體トシテハ恐ラク萬ノ指ヲ勘定スルノデハ
ナイカト云フヤウナコトヲ悞レルノデアリ
マス、師範學校ニ入ル希望者ガ極メテ少イ、
サウ云フヤウデ、俊秀ナ人ガ到底集マラナ
イト云フノデアリマスカラ、依然トシテ是
レ主體反省ノ忘却ニ歸著スルト思フ、ソコ
デ今日文部省ガ力ヲ入レテ居ルコトハ何デ
アルカト云フト、當面ノ急ニ應ズル爲ノ色
色ナ實業的ナ施設デアル、ヤハリ依然トシ
テ主體反省ノ立場ヲ御忘レニナツテ居ルカ
ノヤウニ見エル、其ノ意味合ニ於テ文部省
ハ之ヲ國立ニ致シマシテ、サウシテ指導ノ
確立、根本的ナ基礎ヲ御作リナサル御考ガ
アルカ、此ノ點ヲ一ツ御伺シタイ
ソレカラ時間ガナイサウデアリマスカ
ラ、モウ一點御伺シタイコトハ、假リニ高
等師範ナリ、或ハ文理科大學ニ於テ多少此
ノ教育學ト云フヤウナモノヲ加味シテ居ル
ノデ、其ノ點カラ他ノ學校ト多少ノ差ガア
ルト云フ御答辯ガアルノカモ知レマセヌ
ガ、ソレナラ私ハ當ツテ居ラナイト思フ、
今日文部省ノ圖書局長ガ御見エニナルカド

ウカ分リマセヌガ、日本教育學ト云フ本ヲ
書イテ居ラレルノデアルガ、私ノ知ツテ居
ル範圍内ニ於テ二三人アルヤウデアリマス
ガ、私ハ近藤サンガ日本ノ國デハ一番初マ
リダト思ヒマス、日本ノ主體ノ反省、日本
教育學ヲ樹立シヨウト云フ傾向ガアルコト
ヲ私ハ察知スルコトガ出來ル、洵ニ宜イコ
トト思フノデアリマス、是ガ果シテ本當ノ
日本ノ教育學トシテ、組織的ニ出來上ツタ
モノト言ヘルカドウカ、是ガ師範學校ニマ
デ行ツテ、日本ノ教育ハ斯クノ如クデアリ、
日本ノ國ノ農村ニ於テハ斯ウ云フ指導原理
ニ基イテ、學校ハ斯ウ經營セラルベキモノ
ダト云フ具體的ナモノニ付テ、指導ガ出來
ルヤウナ原理トナツテ居ルカト云フト、私
ノ調べル所ニ依リマス、圖書館ニ二三三
日籠ツテ調べテ見マシタガ、是ハ殆ド教育學
ト云フモノガ體ヲ成シテ居リマセヌ、大體
ニ於テ目的論ハ倫理學カラ來テ居リマス、
方法論ハ常識ノ羅列ト云ツタヤウナ形デ、
何處ニ科學トシテ、又實際的ニ指導スルモ
ノトシテノ具體的ノ經營ノ方針ガ示サレテ
居ルカト云ウト、殆ド示サレテ居リマセヌ、
大學ニ於テサウ云フ教育ヲ受ケ、師範學校
ニ行ツテ、ソレト同ジ教育學ノ講義ヲ致シ、
其ノ儘師範學校ヲ卒業シタ人ガ具體的ニ農

村ニ行ツテ經營スルモノハ、唯文部省カラ
與ヘラレタル教科書ヲ子弟ニ授ケテ行クト
云フダケノ話デアル、茲ニ日本ノ教育ノ根
本缺陷ガアル、ソコデ日本の教育學ノ樹立
ト、ソレヲ學校ニ實際行フヤウニナサルコ
トニ付テ文部當局ハ如何ニ御考ナサツテホ
居デニナルカ、此ノ點ヲ御同致シマス

○荒本國務大臣 御説ノ通りニ、師範教育
ニ關スル根本ノ改正、之ニ對スル理想ノ確
立ハ、最モ切要ナ一ツト考ヘテ居リマス、
先年來ノ教育審議會ニ於キマシテ、此ノ點
ガ十分ニ審議セラレマシテ、只今御説ノア
リマシタヤウナコトモ十分ニ加味セラレ
テ、審議ガ既ニ終リマシテ、今ノ答申ガ内
閣ニ出テ居リマス、其ノ答申ハ文部省ニ移
サレテ居リマシテ、其ノ内容ニ依レバ今御
話ノヤウナ點ガ十分ニ含マレテ居リマス、
是ハ昨年ノ暮ニ答申ガアリマシテ、文部省
ノ手ニ參ツテ居リマスルガ、此ノ答申ヲ基
礎トシテ、單ニ今日ノ時局ノ急ニ應ズルバ
カリデナク、寧ロ文部省ト致シマシテハ、根
本ヲ植付ケル、其ノ種ヲ作ル一番ノ源ニナ
ルベキモノヲ長イ目デ作ツテ行クト云フ風
ニ考ヘマシテ、此ノ答申ヲ基礎ト致シマシ
テ十分研究ヲシ、實施ニ移シタイト考ヘテ
居リマス、隨テ其ノ内容及ビ之ニ制度モ伴

ツテ今御意見ノアリマシタヤウナ方向ニ向
ツテ今後進ムコトニナルコト存ジマス、
又サウ致シタイト考ヘテ居リマス

○森田委員 モウ一點御同致シマス、是ハ
時間ガアリマスレバ實ハ詳説シテ、日本ノ
農村教育ノ根本缺陷ヲ衝キタイト思フノデ
アリマス、サウシテ大臣ニ私等ノ意ノアル
所、又一體本當ノ農民ト云フモノハ何ヲ望
ンデ居ルカト云フコトヲ申上ゲタイトデア
リマスケレドモ、ソレニ對スル時間ガ許サ
レテ居ラスサウデアリマスカラ、極メテ簡
單ニ申上ゲマスガ、一體日本ノ人間ノ半分
ハ百姓ナノデス、アトハ工業アリ、商業アリ
ナノデアリマスルガ、本當ノ百姓ヲ作り、本當
ノ工業人ヲ作り、本當ノ商業人ヲ作り、本當
ノ水産人ヲ作ルト云フコトハ、行的ナ立場ニ
立ツテ——行的ト云フ言葉ハ宗教上ノ問題
ニナリマスルカラ、私ハ是ハ避ケタイト思
ヒマス、私ハ慧行ト云フ言葉ヲ使ツテ居ルノ
デアリマスガ、慧行ト云フコトハ根本的ナ
人間ノ實在ヲ意思のナモノト見ルカラ、サ
ウ云フモノガ出來テ來ルノデアリマスガ、
其ノ上ニ立ツテ經營セラルル教育デナケレ
バナラナイノデアリマスルカラ、學校ハ正
ニ道場デナケレバナラスコトハ明ナコトデ
アリマス、所ガ實ニ不思議ナ現象ガアルノ

デアリマス、一體今日農民道場ハ何處ノ主
管ニナツテ居ルノデアルカ、水産道場ハ何
處ノ主管ニナツテ居ルノデアルカト言ヒマ
スルト、農林省ノ主管ニナツテ居ル、何ノ
爲ニ一體文部省ハソレヲオヤリナサラナイ
ノデアルカ、是ハ實ニ不思議ナコトナノデ
ス、教育ノ根本的ナ姿ヲ現ハシテ居ルモノ
ガ農民道場ナノデス、所ガ文部省ダケハソ
コニ觸レテ來ナイ、聞ク所ニ依レバ、是ハ
果シテ本當カドウカ分ラナイガ、最初文部
省ニ對シテ農林省カラ、斯ウ云フコトデ行
カナイト、日本ノ農村ハ救ハレナイト思フ
ガ、文部省ハ如何ニ御考ナサルカ、新ウ言
ハレタ所ガ、コチラニハ大シテ適當ナ案ガ
ナイカラ、アナタノ方デソレニ合フヤウニ
ヤツタラ宜イダラウト云フノデ、サウ云フ
モノニナツタノダ、斯ウ云フ風ニ聞イテ居
ル、果シテ然リヤ否ヤト云フコトハ私モ能
ク分リマセヌガ、茲ニ私ハ現在ノ日本ノ文
部省ノ大地カラノ遊離性ガアルト思フ、大
地ニ足ヲ置カナイ教育ヲヤツテ居ル、概念
的ナ教育ノミヤツテ、方針ヲ立テテモ日本
ノ大地ニ足ヲ觸レナイ、詰リ先刻申上ゲタ
日本ノ教育學ニ足ヲ置カナイデ、泰西ノ直
譯的ナ教育學カラ來ル所ノ單ナル文化的ナ
モノトシテノ知識ヲ授クルコトヲ中心トシ

テノ教育ガ行ハレテ居ル、ソレガ日本ノ國
ノ本當ノ爲ニナツテ居ルノカ、農民ノ本當
ノ生活ニ觸レテ居ルノカト云フコトヲ考ヘ
ナイ所ニ、今日ノ文部省ノ一大缺陷ガアル
ト私ハ見ル、是ハドウ云フ所カラ來ルノカ
ト見マス、私ハ學校ノ先生ガ、此ノ直接
生活苦ヲシツツアル農民ノ實生活ニ觸レナ
イト云フ所ニアルト考ヘルノデアリマス、
文部省ガ物ヲ與ヘ過ギテ、學校ノ生徒ガ機
械的ニ動イテ居ル點カラ來ルト思フ、是ハ
色々ノ點カラ更ニ議論サレルノデアリマス
ルガ、例ヘバ今日ノ地方學事通則ノ如キ、
アア云フモノハ議會ヘ掛ケマス、議會ヘ掛
ケレバ幾ラカ民意ニ觸レルヤウナ形ニナリ
マス、所ガ私カラ見ルト、日本ノ國民學校
ノ改正ノ問題モ、或ハ青年學校ノ義務制ノ
問題モ、或ハ師範學校令ノ改正ノ如キ問題
モ、モウ日本ノ國民生活ニ取ツテ是程重要
ナ案件ハナイ、所ガ文部省ハサウ云フモノ
ハ教育審議會ヘ掛ケル、其ノ教育審議會ヘ
選バレル方々ト云フモノハ、グツト上層ノ
所謂練達堪能ノ士ナシデス、其ノ練達堪能
ノ士ハ過去ノ世界ヲ通ツテ來タ練達堪能ノ
士デ、今日惱ミツツアル庶民、農民、漁民、
サウ云フ方々ノ生活苦カラ非常ニ遊離シタ
形ノ方々デス、サウ云フ方々ヲ教育審議會

へ集メテ居ルカラ、實際告ト文部省ノ狙フ所トガ非常ニ離レタ形ニナツテ居ル所ニ、先程申上ガマシタヤウナ農民道場ノヤウナ極メテ重要ナモノヲ農林省ヘ移管シナケレバナラスト云フヤウナ形ニ相成ツテ來ルト私ハ思フ、是ハ文部省デ非常ニ反省シナケレバナラス點ダト私ハ考ヘル、是ハ實ハ他ノ方デ議論シタカツタノデアリマスケレドモ、サウ云フ點ヘ持ツテ行ツテシマヒマシタカラ、私ハ已ムヲ得ズソコヘ結付ケルノデアリマスルガ、將來是ハ何トカ別個ノ形デ文部省ハモット議會ト接觸ヲ保ツテ、眞ニ民意ニ觸レタル、教育ノ實際ニ適切ナル方法ヲ採ルコトガ必要ダト考ヘルノデアリマスルガ、荒木文部大臣ハドウ云フヤウナ御所見ヲ御持チニナリマスルカ、其ノ點ヲ御聽キシタイト思ヒマス

○荒木國務大臣 イマ行ト云フ文字ヲ御避ケニナツテ、慧行ト云フ文字ヲ御使ヒニナリマシタケレドモ、ソレハドチラデモ宜イノデアリマスガ、實際ト學問ノ方面トガ結付イテ、兩者相俟ツテ其ノ人ヲ完成シテ行クト云フコトガ教育ノ大眼目デアルコトハ御説ノ通りデアリマス、今日マデ多少其ノ點ニ付テ等閑ニ付セラレタコトハ、先程來モ御話ノ通り、明治教育ニ於テ一方ニカフ

入レテ急イダ結果デアリマシテ、是ハ先輩ヲ兎ヤ角言ハウトハ毛頭存ジマセスガ、今日ハ其ノ缺陷ト申シマスルカ、其ノ必要性質十分感ジマシテ、文部省モ其ノ方ニ向ツテ總テノコトヲ致シテ居ルノデアリマス、今ノ農民道場ノ問題ハ姑ク別ト致シマシテモ、其ノ方向ニ向ツテ、所謂校內鍛鍊、校外鍛鍊——校外鍛鍊ハ單ニ家庭トカ何トカ云フコトデナク、實務ニ入ツテ行カナケレバナラス、隨テ教員モソコニ行カナケレバナラス、今回ノ國民學校ノ改正モソコニ大イニ考ヘル所ガアツテ、其ノ方向ニ進ンデ居リマス、師範學校ノ改正モサウ云フ方面ニ向ツテ可ナリ多クノ力ヲ費サレテ居ルヤウデアリマス、又是ハ大事ナ教育ノコトデアルカラ、國民大衆ト最モ接近シテ居ル議會ニ諮レト云フコトハ一應御尤デアリマスルガ、茲ニハ非常ニ深い、更ニ大キク考ヘテ行クベキ問題モアラウト存ジマスルシ、又サウ云フ風ナ制度ニ致サスデモ實施シ得ル方法モアルノデアリマス、此ノ點ハ此ノ間教育ノ基礎、教權ノ確立ト云フヤウナコトノ議論モアツタノデアリマスガ、色々ナ方面カラ今マデノ歴史、又之ニ對スル大權事項、色々ナコトヲ合セマシテ、深クモウ一段研究ヲ要スルコトト思ヒマスル

ノデ、今茲ニ之ヲ如何ニスベキカト云フコトニ付テハ御即答ヲ致シ兼ねルノデアリマス、ソレ等ヲ考ヘマシテ、假令ドウ云フ制度デアリマシテモ、今御話ノ通り國民ノ狀態ヲ見マシテ、農村、漁村、山村其ノ他都市、是等ヲ合シテ、殊ニ青年學校ガ義務制ニナリマスレバ、益、以テサウ云フ方面ニ對シテハ文部省トシテモ十分接近モシ、實情モ知リ、新時代ニ於ケル變ツタ一ツノ活躍ヲ爲スベキ情勢ニアルト存ジマスルシ、又左様ニ致スコトニ努力致シタイト考ヘテ居リマス、今後左様ナ方面ニ對シテハ、御意見ノアルヤウナ方面ニ向ツテ著々進ミタイト思ツテ居リマス

○庄司委員 本委員會ガ只今御委任ヲサレテ審議ヲ致シテ居リマス法案ハ、大變長イ名前デゴザイマスガ、要スルニ青年學校ノ義務制ノ實施ニ伴ウテ、青年學校ニ新シク就學サルベキ全國ノ實務勤勞青年大衆ノ健康ノ上ニ、或ハ雇傭主關係ニ於テ、勞働時間ニ無理ノナイ所デ調整シヨウトスル點ニ於テ、厚生省ガ文部省ト御相談ノ上デ相當御苦心ニナツタ法律案デアルト考ヘルノデアリマス、私ハ成べく多數ノ委員各位ガ遺憾ナク當局ニ質疑ヲ十二分ニ致サシムル爲ニ、私自身モ自肅自戒ヲ致シマシテ、大體約二

十分位ノ程度ノ質問ヲ以テ終リタイト思フノデアリマス、ソコデ一問一答ヲ申スコトガ委員會ノ能率ヲ舉ゲル上ニ於テ、或ハ效果の方面カラ見テ理想的デアルカモ知レマセスガ、私ハ一括ヲ致シマシテ、三四ノ問題ニ付テブツ通シ御尋ヲ申上デ、ソレニ對シ率直明快ナル御答辯ヲ受ケルコトガ却テ能率ヲ舉ゲルデアラウ、斯ウ云フ意味合カラ繼續的ニ第一回カラ當局ニ御尋ヲ申上ガマス

第一ノ問題ハ、厚生省ハ本邦青少年幾百萬ノ勞務勤勞者ニ對シ、厚生行政上如何ナル勞務管理上ノ指導原理ト方策ヲ持タレテ居ルカ、斯様ナ命題ノ質問デアリマス、第一問ノ概要ヲ極ク簡單ニ申上ゲルナラバ、産業經營ノ合理化ト勞務管理ノ圓滑適正ナル行使トハ、一切ノ自然科學、精神科學ヲ提供シテ、有ユル組織手段ヲ應用シテ、以テ人間勞働ノ生産性——此ノ性ハ「キャパクター」デアリマス——生産性ヲ高メルコトハ今更申スマデモナイト思ヒマス、其ノ結果ハ當然産業ノ悠遠ナル繁榮ト、勞働者ニ對スル勞働ノ輕減トヲ招來シ、勞働者ノ健康ト生産力ヲ最大限度ニ發揚保持スルコトガ出來ルモノデアルト信ジテ居リマス、故ニ結局ハ勞務管理ノ基本的、根本的、集

中のノ目的ハ人間ノ生命ヲ重シ、人格ヲ尊ブコトデナケレバナライ、此ノ意味ニ於テ勞務管理最高ノ使命ハ常ニ文化的デアリ、教育的向上ガ必然的ニ隨伴シナケレバナライト思フノデアリマス、故ニソレハ從來ノ資本主義的ナ勞働強化ニ依ツテ能フ限リ生産ヲ多量ナラシメントスル貪婪デアツテハナライ、慾深デアツテハナライ、又同時ニ能フ限リ少量ノ勞力ヲ以テセントスル懶惰デアツテハナライ、怠ケデアツテハナライト思フノデアリマス、殊ニ發育旺盛期ニアル所ノ滿十二三歳ヨリ十八九歳程度ニ至ル青少年、工場職工、或ハ店員、鑛山炭坑等ニ働イテ居ル勤勞者ニ對スル勞務上ノ管理ノ一切ト云フモノハ、極メテ重要ナルモノデアリマシテ、一面ニ於テ社會問題デアリ、否國家問題デアリマス、唯單ナル所ノ一勞働時間ノ問題デハ決シテアリ得ナイト思フノデアリマス、然ルニ此ノ大切ナル發育旺盛期ニ於ケル所ノ青少年ヲ、單ナル一個ノ勞働力トシテ、或ハ機械的勞働力トシテ、從來極端ニ言ヘバ一個ノ勞力商品デアルカノ如キ態度ヲ以テ、長イ間輕視サレテ參ツテ來テ居ル、勞働スル所ノ一個ノ國民人格トシテ認メラレテ來ナカツタト云フコトハ、洵ニ遺憾千萬ナコトデア

ルト考ヘテ居リマス、青少年ノ勞働者ノ身體ヤ精神ノ發達ニ於テモ、産業生産上ノ實際的ナ能率上ニ於テモ、教育的條件ガ整備セラレタル學校教育ヲ長ク受ケタ者程、極メテ優良ナル所ノ成績ヲ收メテ居ル、産業上ノ各種ノ障礙ガ、從業員ノ無智或ハ無道徳等ニ原因スルコトガ甚ダ多イコトモ亦統計上見逃シテハナライコトデアルト思フノデアリマス、ソコデ青年學校生徒トシテ、義務制度ノ實施ノ下ニ就學スル所ノ滿十四歳以上、滿十九歳以下ノ實務勤勞青少年ノ教育並體位ノ向上、保健衛生上ノ對策關係カラ、厚生省ハソレ等發育盛リノ青少年ノ勞務管理上ノ指導原理ヲ如何ニ考ヘテ居ラレルカト云フコトガ私ノ第一問デアリマス

第二問ハ現行ノ工場法ノ改正ヲ斷行セラレマシテ、現行法ノ滿十六歳以下ト云フノヲ、滿十八歳マデ保護職工工具トスル所ノ御意思ハナイカ、其ノ御計畫ガナイカト云フ結論的ナ質問デアリマス、近時我國ニ於テハ諸々ノ工場ガ勃興シテ參リマシテ、粗工業ヨリ精密工業ヘ、模倣的産業ヨリ創造的産業ヘ、何キ當リバツタリ主義ノ經營ヨリ、計畫的合理化經營ノ時代ヘト進展シテ參リマシタコトハ、洵ニ御同慶ニ堪ヘナイ所デアリマス、愈、以テ本邦産業界ハ有爲ナ

ル産業戰士ヲ要求シテ已マナイ時代ニ入ツテ居リマス、然ルニ物質的經濟時代ニハ兎角人間ヲ仕事ニ有能ナラシムルコトノミニ急デアリマシテ、或ハ熟練工或ハ有能工ノ養成ニノミ全力ヲ傾注シ、基本的ナル所ノ人間のナル教育ヲ試ミルト云フコトガ、忘レラレ勝チノ傾向ニアツタト云フコトハ洵ニ遺憾デアリマス、斯ノ如キコトハ唯打算的ニ、當面ノ問題トシテ熟練工ヲ養成スル、或ハ有能工ヲ養成シヨウトスル所ノ、現實的ナ打算的ナ所謂養成ト云フモノハ、基本的ナ人間教育、人格教育ヲ無視スル所ノ功利的ナ養成ト云フモノハ、必ズヤ悔ヲ千載ニ貽スモノデアルト考ヘテ居リマス、人間教育ノ目標ハ言フマデモナク、其ノ人格ノ完成ニアルノデアリマス、有爲ナル工員タラシメント欲セバ、日本國民教育ヲ深く普遍化セネバナラスコトハ是亦言フマデモナイ所デアリマス、仕事ヲ通シテノ教育、作業ヲ通シテノ教育、所謂勞作教育、而シテ人格教育ノ最善ナル所ノ青年教育、是等ヲ等閑ニ附シテ、光輝アル東亞百年ノ長期建設ハ何處ニアリヤト云フコトヲ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、然リ産業ノ發達ハ能ク教育サレタ産業戰士ニ乏シクシテハ絕對ニ不可能デアリマス、彼ノ「ソビエト」露西

亞ガ第一次産業五箇年計畫、或ハ第二次産業五箇年計畫ヲ可ナリ聲ヲ大ニシテ宣傳シタノデアリマスケレドモ、其ノ結果ハ掛聲バカリ大デアルニ比シテ、餘リ思ハシクナカツタ、是ハ「ソビエト」露西亞ノ産業計畫ニ於テ、其ノ基本的ナル所ノ工員ノ人間教育ト云フモノガ乏シカツタ爲デアル、教育ガ之ニ附隨シナカツタト云フコトガ「ソビエト」露西亞ノ第二次計畫ニ於ケル失敗ノ重大ナル原因デアルコトハ、世人齊シク認メテ居ル所デアリマス、青年學校ノ義務教育制度ガ、全國ノ實務勤勞青年大衆ニ取リマシテハ洵ニ是ハ一大福音デアリ、非常ナル喜ビト期待ヲ持ツテ居リマス、然ルニ只今吾々が審議シテ居リマス所ノ本法案ニ依レバ、十四才以上十六才以下ノ勤勞青少年等ニ對シテノ就學時間ニ勞働時間ヲ割愛シテ、通學ヲサセテ貴ヒタイト云フ意味ノ法律デアリマス、甚ダ不徹底極マル所ノ法律デアリマス、何トナレバ青年學校ハ普通科二箇年、本科五箇年デゴザイマス、十九才マデガ本科青年學校生徒ノ年齢ニ該當スルノデアリマス、文部大臣ハ屢、昭和十五年度ヨリ小學校即チ國民學校ハ八箇年義務教育制度ヲ實施サルル旨聲明サレテ居リマス、然ラバ青年學校ノ普通科二箇年ト云フモノハ、

當然昭和十五年で廢止ノ運命ヲ招來スルコトハ殆ド火ヲ賭ルヨリモ明ナ事實デア、然ラバ本法案ニ依ツテ滿十四歳ヨリ十六歳マデノ青少年、此年齡ニ該當スル青少年ダケガ、就學ノ時間ヲ労働時間中ヨリ割愛サセルト云フ此ノ意味ノ法律ハ、向フ一箇年ダケシカ有效デナイ法律デアリマシテ、是ハ甚ダ不徹底極マル法律デアルト思フノデアリマス、寧ろ根本的ニ現行ノ工場法ヲ改正サレテ、保護職工ノ年齢ヲ十八歳マデトシ青少年ノ體質ヲ充實スル所ノ考ハ厚生大臣ニ於カレマシテ御持チニナツテ居ラレスノデハナイカ、斯ノ如キハ決シテ生産力ヲ減退セントスルモノデハゴザイマセヌ、青少年實務労働大衆ノ工員或ハ職工、炭坑夫、或ハ店員ヲ問ハズ、倦怠ナキ一定ノ労働時間ノ範圍内ニ於ケル勤務ハ、寧ろ青少年ヲシテ喜ンデ明朗裡ニ生産力ヲ學ガサスモノデアリマス、「カール・マルクス」ハ生産力ト労働時間トハ數學上ノ正比例ヲナスト云フコトヲ言ツテ居リマスガ、ソレハ理論トシテハサウデゴザイマセウケレドモ、一日一定時間内ニ於テ勤務シ、生産スル所ノ青少年等ニ對シマシテ、適當ナル所ノ休養時間、適當ナル所ノ休憩時間等ヲ與ヘテ、出來ルダケ長時間ノ労働ヲ免除スルコトニ依ツテ、

寧ろ生産力ガ非常ニ擧ツテ居ルコトハ、屢々各種工場ノ統計ニ於テ吾々ハ發見スル所デアリマス、現ニ我が防共盟邦デア、所ノ獨逸ニ於テハ、獨逸國ノ現行工業法第百四十七條ニ於テ、雇傭主ハ滿十八歳マデノ其ノ徒弟、店員等ヲ補習學校或ハ職業學校等ニ就學セシムル所ノ義務ヲ負擔セラレテ居リマス、然ラバ我國ニ於テ今回厚生省ガ立法サレマシタル此法律ハ、多少ナリトモ社會立法ノ臭ガ漂ツテ居ル所ノ青少年労働者ニ取リマシテ、是ハヤハリ有難イ法律デア、十九歳マデノ青年學校義務制度ノ年齡制限アルニ拘ラズ、十六歳マデト限定サレタ此ノ微溫的ナ態度ト云フモノハドウ云フ意味デア、工場主或ハ資本家等ニ迎合サレタ爲デア、カドウカ、私ハ甚ダ其ノ意ヲ得ナイノデアリマス、折角全國ノ青少年工員ノ健康ノ指導者、或ハ味方トシテ立法サル所ノ此ノ法律ガ、唯十六歳マデヲ就學時間トシテ労働時間ヨリ割愛セヨト云フヤウナ意味ノ此ノ法律ハ、洵ニ不徹底極マル所ノモノデア、ルト考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、仍テ其ノ結論ハ前申上ゲタヤウニ現行工場法或ハ鑛業法等ヲ改正サレマシテ、滿十八歳マデヲ保護職工トスルヤウナ劃期的ナ社會立法トシテ改正ヲサレル所ノ御意

思ガアルカナイカト云フ質問デゴザイマス其ノ次ノ第三ノ御尋ハ十六歳以上十九歳マデノ青年學校生徒ノ義務教育施行ニ伴ヒマシテ、本法ニ依リマス、滿十六歳マデガ時間ヲ割愛サレルノデアリマスカ、労働賃銀ニハ關係ノナイコトニナルノデアリマスガ、十七歳カラ十九歳マデノ青少年諸君ガ青年學校ノ義務教育ヲ強ヒラレルコトニ依ツテ、其ノ労働賃銀ハドウ云フ關係ニナツテ行クカト云フ質問デアリマス、時間給ノ工場、或ハ個數制度、所謂出來高支拂ト云ヒマス、或ハ一時間幾ラト云フ時間給ノ工場等ニ於テハ、一箇年ニ二百四十時間平均ノ労働時間ヲ學校ノ通學ニ要スル爲ニ、或ハ労働賃銀ガ差引カレテ、青少年諸君ノ收入ガ激減スル所ノ虞ガナイデアラウカ、此ノ點ニ付テ厚生省ハ文部省ト相談サレテ、工場主或ハ資本家諸君トノ間ニ如何ナル所ノ相談ヲナサレテ善處サレル所ノ御意思デア、カドウカ、最近産業報國運動ト云フ運動ガアリマシテ、大變結構ナコトデアリマスガ、此ノ産業報國運動ヲ利用シテ工場主、或ハ事業家が發育盛リノ青少年ノ労働力ヲ強度化シ、或ハ高度化シテ、青少年ノ體位ノ向上トハ反對ニ、之ヲ低下サセテ居ルヤウナ事實ガ幾多地方ニ於テ發

見サルノデアリマス、而モ今度ハ青年學校ノ義務教育ノ施行ニ伴ウテ青少年ノ收入ガ激減スルヤウナコトガアリマシタナラバ、固ヨリ中等學校ハ愚カ高等小學校ニサヘモ入ルコトガ出來ナイ生活ノ「レベル」ノ低イ所ノ青少年諸君デアリマスガ故ニ、其ノ労働賃銀ガ青年學校ニ入ル爲ニ激減スルヤウナコトガアリマシタナラバ、是ハ決シテ就學率ヲ上ゲ得ル所以デハナイノデアリマシテ、洵ニ困ツタ問題デア、ルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ問題ニ對スル所ノ厚生大臣ノ御意見ハドウデア、カ、又如何ニ善處ナサレントスルノデア、カ、御伺ヲ申上ゲマス、其ノ次ニ、今朝ノ新聞ヲ見マス、厚生省ハ來月早々技能者養成令ト云フ勅令ニ依ツテ、十四歳以上十七歳以下ノ青少年諸君ヲシテ工場、其ノ他ノ所謂中堅職工ヲ養成スル所ノ御意圖ガアルト云フコトガ發表サレテ居リマス、ソコデ觀念ノ關係ガゴザイマス、カ、御伺申上ゲタイノハ、技能者養成ニ依ル所ノ十四歳以上十七歳以下ノ青少年ハ悉ク是ハ青年學校義務教育ノ該當年齡ノ範圍内ニ於ケル所ノ青少年ノ諸君デアリマスガ故ニ、此ノ技能者養成所ト青年學校トノ關係ハ一體ドウスル積リデア、カ、附帶ノダブツタ教育ヲスル所ノ方針デア、カ、

ウカ、若シダブツタ附帶ノ教育ヲスルト致シマシタナラバ可ナリ 青少年ノ智能、或ハ技術ノ啓發ニハナルデアリマセウケレドモ、精神的ニ過重ヲ負擔ヲ與ヘルコトニナル、此ノ兩者ノ關係ガ一體ドウナルカト云フコトヲ參考的ニ御伺申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、ソレカラ現在ハ恐ラク千二百校位ノ私立ノ青年學校ガアルト思ヒマスガ、是ハ文部省ノ所管デ、直接厚生省ノ御所管デハナイヤウデアリマスケレドモ、各工場等ヲ御指導、御誘掖下サル所ノ職務權限ノ上ニ立ツテ是非御善處ヲ願ヒタイ、ソレハ此ノ私立ノ青年學校ノ中ニハ洵ニインチキ極マル所ノ青年學校ガ相當多イノデアリマス、大部分ハ青少年ヲ教育スル爲ニ、眞劍ニ、眞面目ニ青少年ノ前途ヲ憂ヘテ青年學校ヲ經營サレテ居ル方々デゴザイマ스가、一部ニハ洵ニインチキ極マル所ノ青年學校ガアル、其ノ青年學校ハ職業紹介法ニ依ツテ全國ノ職業紹介所等ニ俺ノ工場ニハ斯ウ云フ青年學校ガアル、俺ノ工場ノ職工ニナレバ青年學校ニ入レテヤル、三箇年或ハ五箇年勉強シタ者ニ斯ウ云フ資格ヲ與ヘルト云フヤウナ、所謂好餌ヲ以テ呼掛ケマシテ、サウ云フ美名ノ下ニ羊頭狗肉ノ看板ヲ掲ゲテ、或ハ地方ノマダ開業日淺イ所ノ

職業紹介所長ノ心持ヲ欺瞞シ、又全國ノ青少年ヲ欺瞞シテ、サウシテ職工ヲ募集セントスル所ノ偽リノ看板ヲ掲ゲテ、私立ノ青年學校ヲ經營シテ居ル輩ハ蓋シ少クナイノデアリマス、私ハ厚生省ノ方々ノ御承知ノ如ク最近マデ職業紹介所長ヲ兼ねテ居リマシタ爲ニ、有ユル地方ノ就職狀況、或ハ勞働者ノ慰問等ニ行ツテ見マシテ、成程青年學校ノ建物ヤ講堂ハ立派デアルケレドモ、先生或ハ教師、其ノ他ノ設備ノ關係、或ハ青年學校ノ授業時間ノ關係、洵ニ出鱈目極マル、インチキ極マルモノデアツテ、青年ハ決シテ喜ンデサウ云フ所ニ於テ教育ヲ受ケテ居ラナイノデアリマス、仕方ガナイカラ形式的ニ勞働サセラレルヨリハ、學校ノ生徒ニナツタ積リデ居ル方ガ樂デアルト云フノデ入ツテ居リマスケレドモ、實ノ入ラナイ所ノ山師的ナ青年學校ガ相當アルト云フコトハ、是ハ文部大臣ト御相談ノ上餘程嚴重ナル監督ヲナサレ、將來國家ノ爲ニ有ナル所ノ青少年ヲ養成スル此ノ青年學校令ニ基イテ、厚生省モ青少年諸君ノ體位ノ向上ノ爲ニ、心身共ニ堅實ニシテ我が邦家ノ爲ニ將來健闘スル青少年養成ノ爲ニ御善處ヲ願ヒタイ、斯ウ云フ考デゴザイマス、其ノ他申上ゲタイコトハ多々ゴザイマ스가、

前申上ゲタ通り一人デ長ク時間ヲ獨占スルコトハ、決シテ議會ノ本能デハアリマセス、自肅自戒、此ノ程度ヲ以テ私ノ質問ヲ終リタイト思ヒマス、只今マデブツ通シノ質問デゴザイマシテ、前半ハ大臣ハ御聽キニナツテ居ラレナカツタヤウデゴザイマ스가、努メテ大臣竝ニ勞働局長ノ簡單明快ナル御答辯ヲ賜ハラントコトヲ要望シテ已マナイ次第デアリマス

○廣瀨國務大臣 私途中デ參リマシタカラ、前ノ方デ若シ足ラナイ所ガアリマシタラ政府委員カラ御答申上ゲマス、技能者養成ヲ始メルコトニナリマ스가、御心配ノヤウニ是ハヤハリ青年學校トノ關係ヲドウスルカト云フコトハ私共モ色々心配ヲ致シ、研究ヲ致シ、文部省トモ十分ニ連絡ヲ取りマシテ、青年學校ノ仕事ト、ソレカラ技能者養成ノ仕事トダブラナイヤウニシテ、兩方利用シ合フヤウニ協議ヲ致シテ纏メテ居リマ스가、其ノ點ハ青年ニ過重ノ負擔ニナラナイヤウニ致シ得ルコトニナツテ居リマス、ソレカラ青年學校ノ中ニ、青年學校トシテ適當デナイモノガアルト云フ御話デアリマ스가、是等ニ付キマシテハ文部省トモ連絡ヲ取りマシテ、十分ニ監督ヲシ、遺憾ノナイヤウニ注意ヲ致シタイト思ヒマス

○成田政府委員 残りノ問題ニ付テ私カラ御答致シタイト考ヘマス、最初ニ青少年勞働者ニ對スル勞務管理ニ付テノ御尋ガアツタノデアリマス、是ハ御話ニモアリマシタヤウニ、單ニ勞働者ニ對スル就業時間トカ、其ノ他ノ關係ニ於テ、色々外部カラ保護ヲ與ヘルト云フダケデナク、産業人トシテノ心構ト申シマスカ、教育的方法ニ力ヲ入レナケレバナラスト云フコトハ、私共モ御同感ナノデアリマス、唯形或ハ法令ニ現ハレタ所ヲ見マスト、御示シニアリマシタヤウニ、青少年ニ付テ就業時間ヲ何時間ニスルカ、或ハ深夜業ヲドウスルカ、休日、休憩ニ付テハドウスルカ、或ハ危険ナ仕事ヤ、衛生上有害ナ仕事ニ就ケテハナラスト云フ規定ガ出テ居リマ스가、サウ云フ方カラ見マスルト、教育ノ方面ハ形トシテ現ハレテ居リマセヌ、併シ從來ト雖モ、私共ト致シマシテハ工場、鑛山等ニ於ケル青少年勞働者ノ教養、教育ノ方面ニ付テ、出來ルダケ氣ヲ配ツテ居ツタ積リデアリマス、殊ニ今回ノ事變ガ起リマシテカラハ、特ニ時局ニ鑑ミ、御言葉ニアリマシタヤウニ、産業報國ノ精神ノ普及徹底、或ハ銃後ニ於ケル生活ノ刷新ニ特ニ力ヲ入レマシテ、全體的二見テ、時局下ニ於ケル産業人トシテノ心構、

精神、態度ヲ確ツカリ擱ンデ、精神ヲ作興シ、國家ニ御奉公スルヤウ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、今申上ゲマシタヤウナ物心兩方面カラ、勞務管理ニ付テ考ヘテ行ク建前ヲ取ツテ居ル積リデアリマス

第二ニ現在十六歳未満ノ者ガ勞働法規上ノ保護年齢ニナツテ居ルノヲ、十八歳ニ引上ゲル意思ハナイカト云フ御尋デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、參考資料トシテ御手許ニ差上ゲデアリマス産業勞働者身體發育狀況ト云フ調ノ中ニ、大體ニ於テ人間ガ年齢ニ依ツテ如何ナル發育ヲシテ居ルカト云フ、極ク概略ヲ書イテアルノデアリマス、之ニ依リマス、人間ノ一生ニ於テハ十二歳カラ十六歳アタリマデガ、一番發育ノ旺盛ナ時期デアルト出デ居ルノデアリマス、勿論十六歳以後ニ於テモ、相當ナ發育ヲ致シテ居リマスケレドモ、只今申上ゲマシタ年齢層ガ、一番急激ナ發育ヲスル時期デアリマス、左様ナ關係カラ申シマシテ、從來十六歳ヲ抑ヘテ、是レ以下ノ勞働者ヲ特ニ保護スルト云フ考ヘ方デ來テ居ルノデアリマス、之ヲ更ニ引上ゲルコトハ、勞働者ノ保護ト云フ立場カラ見マスケレバ、望マシイコトト考ヘマスケレドモ、色々他ノ方面モ考慮致サナケレバナリマセヌ、勞働立法

全般ニ互ツテ緩急モ考ヘ、順序モ考ヘテヤラナケレバナリマセヌノデ、今直グ十六歳ヲ十八歳ニ引上ゲルト、ハツキリ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、全般ノ勞働保護ノ制度ヲ、段々良クシテ行クト云フ建前カラ、御意見ノ點ハ十分ニ考ヘテ見タイト思ツテ居リマス、尙ホ列國ノ例ヲ御引用ニナリマシテ、外國ハ十八歳ダト云フコトデアリマス、是ハ私モ能ク存ジマセヌガ、從來日本人ノ男ハ十六歳位マデ非常ニ伸ビル、外國人ハ十八歳位マデハ伸ビル、日本人ト外國人ハ斯ノ如ク少シ發育年齡ガ違ツテ居ルコトモ聞イテ居リマス、サウ云フ譯デ、外國ノ例ハ必ズシモ我國ノ例ニナラナイト考ヘテ居ル次第デアリマス

第三ニハ賃銀ノ問題ニ付テ御尋ガアツタノデアリマス、此ノタビ青年學校令ニ依リマシテ、青年學校ニ行クコトガ義務ニナリマシタ場合ニ於テ、學校ニ行ク時間ニ對シマシテ、賃銀ヲ必ズ支給シナケレバナラヌ法律上ノ義務ガアルト云フコトハ、少シ言ヒ得ナイト思フ、法律上學校ニ行ツテ學問ヲスル、其ノ教授、訓練ノ時間ガ當然ニ賃銀算定ノ基礎ニナルトハ申セナイト思フノデアリマス、併シナガラ現在ニ於キマシテモ、私立青年學校ナドノ實情ヲ見マスケルト、

學校ニ行ク時間デモ、賃銀ト言ヒマスカ、或ハ特ニ賃銀ト云フ名前ヲ避ケマシテ、手當ト云フヤウナ名前デ出シテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ、法律上ノ強制トカ、或ハ理窟ハ別ト致シマシテ、斯ウ云フ青少年勞働者ニ對スル賃銀ヲ、成ベク減ラサナイヤウニ、經營主ト云フカ、僱傭主ト云フカ、年少勞働者ヲ使ツテ居ル人ト能ク話合フスレバ、餘リ是ハ減サナイデヤツテ行ケルノデハナカラウカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ非常ニ今賃銀ガ減ルト云フ御話ガアリマシタガ、時間モ極ク少ク、一年ヲ通ジテ二百十時間ト云フ義務課程ニナツテ居リマスカラ、之ヲ減ラスニシテモ減ラサナイニシテモ、著シイ賃銀ノ相違ハナカラウト考ヘテ居リマス

○庄司委員 文部省關係ノ御方ト違ヒマシテ、厚生省關係ノ政府委員デハ御分リニナラナイト思ヒマスガ、只今ノ御答辯ノ最後ニ、學校時間ノ問題ガアリマシタ、規則ニハ二百四十時間トアリマスガ、學校ヘ往復スル通學時間等モゴザイマス、又教練科ノ演習ナドハ山野ニ寢泊リシテヤルノデ、結局勞働ヲシナイ時間ハ地方ニ依ツテ多少相違ハアリマスルガ、最小限度四百時間位ニナル場合ガ多イデアリマス、教練科ノ演

習ハ洵ニ猛烈デアリマシテ、決シテ一日二時間位デ終ルモノデハゴザイマセヌ、文部省ノ規定ニハ、二百四十時間乃至二百八十時間トアリマスガ、實際ハ驚クベキ時間ヲ保有スルノデアリマスカラ、理解ノナイ僱傭主ノ場合ニハ、青少年諸君ノ收入ガ、相當激減スル虞ガアルト、私ハ見テ居ルノデアリマス、幸ニソレニ理解ノアル人デアリマスレバ結構デアリマスガ、御承知ノ如ク肉身ノ我ガ甥ニ對シテモ、二宮金次郎ノ叔父萬兵衛ハ、夜學サヘ禁ジタコトハ御承知ノ通りデアリマス、昭和ノ現在ニ於テ猶ホ叔父萬兵衛ガ澤山アルコトハ、甚ダ遺憾デアリマス爲ニ、斯様ナ法律ノ必要ガアラウト思フノデアリマス、是ハ水掛論ニ陥ル虞モアリマスガ、努メテ僱傭主關係ノ理解ヲ得ラレルヤウ、是コソ官民協力一致シマシテ、善處シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○野村委員長 宜シウゴザイマスカ——佐藤君

○佐藤委員 本案ノ如キ法律ガ提出セラレルデアラウト云フコトハ、過日青年學校教育費國庫補助法案ノ委員會ニ於テ、田子委員ヨリ文部當局ニ對スル質疑ノ應答ニ依リマシテ、承知ハシテ居リマシタケレドモ、

其ノ提出ガ極メテ遅ク、極ク最近デアッタ

ノデアリマシテ、又ソレガ本委員會ニ併託セラ

レルト云フコトモ、豫想シテ居マセヌデシタ

ノデ、本案ニ對シテ別ニ研究モシテ居リマセ

ヌカラ、大臣ノ御説明ヤ、提供セラレタ資料

等ニ依ツテ、重ネテ質疑ヲ致シタイノデアリ

マス、先刻議事進行ノ動議、河合委員カラ本日

一日デ打切ルノデアルト云フヤウナ御話モ

アリマシタガ、文部當局ニ對スル質疑ハ、

大分同ヲ重ネタノデアリマスガ、厚生當局

ニ對シテハ本日ガ初メテナノデアリマスガ

ラ、果シテソレガ可能デアルカドウカト云フ

コトモ、疑ツテ居ルノデアリマスケレドモ、

會期モ既ニ餘日ガ少イノデアリマスカラ、

私モ成ベク簡單ニ今御質問申上ゲルコトノ

出來ルダケノ御質問ヲ申上ゲタイと思フノ

デアリマス

先刻森田委員ノ質疑ニ關聯致シマシテ、

私ハ大臣ニ御伺シタ、其ノ御答辯ニ、厚生

省ト文部省ト然ルベク協定シテアルト云フ

ヤウナ御答辯ガアツタノデアリマスガ、保

健衛生ト云フヤウナコトデアレバ、如何様

ニモ協定ハ出來マスケレドモ、ソレ以上ノ

體育訓練ノ問題ハ、左様ニ簡單ニ分ツコト

ガ出來ナイデアラウト考ヘルノデアリマ

ス、併シ御協定ニナツタト云フコトデアリ

マスカラ、

〔委員長退席、庄司委員長代理著席〕

如何ニ協定ニナツタカ、其ノ内容ニ付キマ

シテ、第一ニ御伺シタイと思ヒマス

○佐々木政府委員 體育行政ニ付キマシテ、

厚生省デ管掌シマスノハ國民體育全般ニ互

ツテデアリマス、文部省デハ學校内ニ於ケ

ル體育及ビソレト離ルベカラザル範圍ノ體

育、ソレヲ管掌スルコトニナツテ居リマシ

テ、大體ソレデ圓滑ニ行クモノト信ジテ居

リマス、併シ個々ノ問題ニ付キマシテ、或

ハ多少話合ヲ必要トスル場ガアルカモ知レ

マセヌガ、今マデノ所ハ大體圓滑ニ行ツテ

居リマス

○佐藤委員 サウ致シマスト、教育ヲ分割

スルト云フコトニナルノデアリマスガ、教

育ト云フモノハ、爾ク分割シ得ルモノデア

リマセウカ、ドウデアリマセウカ、體育ヲ

離レテ知育ナク、又知育ヲ離レテ德育モナ

イノデアリマス、知育、體育、德育ハ分ツ

コトノ出來ナイモノデアルト考ヘルノデア

リマス、併シナガラ引離シテ引離セナイト

云フコトハナイカモ知レマセヌケレドモ、

引離シタ爲ニ教育上——單ニ行政ノミナラ

ズ、教育ノ根本ニ極メテ大イナル支障ガア

ルト思フノデアリマスガ、其ノ支障ハナイ

ト云フ厚生當局ノ御見込ミデアリマセウカ

○廣瀨國務大臣 御心配ノ點洵ニ御尤デア

リマスガ、ソレデアリマスカラ學校體育

ト云フモノ、及ビ是ト密接不可分ノ體育ハ

文部省デアル、ヤハリ文部省ノ教育トシテ、

一體トシテ其ノ中ニ體育ヲ入レテ居リマス、

サウ云フ關係ニナツテ居リマスカラ、教育

ノ中ノ所謂知育、德育、體育ヲ引離スト云

フ考ハナイノデアリマス、御心配ノヤウナ

コトハナイヤウニ私ハ思ヒマス

○佐藤委員 只今ノ大臣ノ御答辯ニ依ツ

テ、能ク諒解スルコトヲ得タノデアリマス

ガ、サウ致シマスト、學校教育ニ於キマシ

テハ、體育ヲ引離スコトハナクテ濟ミマス

ガ、國民教育ニ於キマシテハ、引離サルル

譯ダト思フノデアリマスガ、如何デアリマ

セウカ

○廣瀨國務大臣 是ハ國民教育トシテハ、

引離スト云フコトモ何デアリマスガ、ヤハ

リ厚生省所管トシテ、國民體育ヲ見ルノデ

スガ、所謂社會教育ノ連絡ハ、十分文部省

ト執ラナケレバナラスノデアリマシテ、是

ハ私ハ支障ナイモノト思ツテ居リマス

○佐藤委員 ソレナラバ私ハ、厚生省ニ於

キマシテ能ク文部省ト、只今大臣ノ御話ノ

如ク、連繫ヲ保タレマシテ、サウシテ教育

上極メテ重大ナル使命ヲ持ツテ居ル國民體

育ノ問題ニ對シマシテ、厚生當局ガ善處シ

テ猛進セラレルヤウニ御願スル次第デアリ

マス

尙ホ引續イテ御伺シタイコトハ、學校教

育ト違ヒマシテ、青年教育ニ於キマシテハ、

他ノ教育ハ文部省ガ所管シテ居リマス、今

度體育ニ關係致シマシテハ厚生省ノ所管ト

ナル譯デアリマス、是モ文部省ト能ク連繫

ヲ保ツテ、サウシテ厚生省ガ特ニ御力ヲ御

用ヒニナレバ宜イカモ知レヌノデアリマス

ガ、會テ青年團ハ內務、文部兩省ノ管轄下

ニアリマシテ、其ノ當時內務省ト文部省ト

ノ意見ガ違フヤウナコトガアリマシテ、文

部省ニ於テハ、修養ヲ以テ青年團ハ其ノ旨

トセンケレバナラストシテ、內務省ハ事業

本位デアレト云フヤウニ、命令ガ二途ニ出デ

マシテ、全國ノ青年團ハ其ノ何レニ適從シ

テ宜イカラ知ラナイト云フヤウナ困ツタ事

例ガアツタノデアリマスガ、體育ガ厚生省

其ノ他ノ教育ガ文部省ト云フコトニナリ

マス、其ノ轍ヲ踏ムヤウナコトガアリハ

セヌカト考ヘルノデアリマシテ、文部省ニ

於テハ體育以外ノ他ノ教育ニ重キヲ置キ、

厚生省ニ於キマシテハ、他ノ教育ヲ餘リ尊

重シナイデ、體育一點張りデオヤリニナル

ト云フヤウナ爲ニ、青年教育上支障ガアルト考ヘルノデアリマスガ、厚生省ハ如何ナル御考デアリ、如何ナル處置ニ出デラレントスルカト云フコトヲ御伺スル次第デアリマス

○廣瀨國務大臣 只今ノ御心配ノ點洵ニ御

尤ト存ジマス、之ニ付キマシテハ文部省ト初メヨリ十分ニ連絡ヲ執ツテ、今日マデ進ンデ來テ居リマスガ、尙ホ具體的ナ問題ニ付キマシテモ、平素ノ連絡ハ勿論、委員會等ニ於テモ相互ニ委員ノ交換ヲ致スト云フコトニ致シマシテ、十分連絡ヲ執ツテ遺憾ノナイコトヲ期シタイト思ツテ居リマス

○佐藤委員 其ノヤウニシテ戴クヤウニ熱

望シテ已マナイ次第デアリマス、尙ホ他ノ事ニ付テ一點御伺シタイコトハ、我が國民ノ體位ガ段々低下シツツアルト云フコトハ、軍部其ノ他ガ時々申述ベテ居ルコトデアアルノデアリマスガ、私ハ決シテ低下シツツアルノデハナイ、其ノ調査ハ、或ハ從來ノ調査ノ範圍ト及ビ調査ノ方法ガ違フ爲、一見低下シツツアルガ如ク見エルケレドモ、從來ノ教育ノ效果ニ依リマシテ、漸次國民ノ體位、體力ハ向上シツツアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、厚生省ニ於キマシテハ、此ノ國民ノ體位竝ニ體力ノ從來ノ成績等ニ

付キマシテ、御調査ニナツテ居ルデアラウト考ヘルノデアリマスガ、大體ドンナヤウナ趨勢ニ在リマスカ、軍部等ノ言フ通りデアリマスカ、或ハ私ノ考ヘテ居ル通りデアリマスカト云フコトヲ御伺シタイノデアリマス

尙ホ序デニイマ一點附加ヘテ御伺シタイ

コトハ、國民ノ體位、體力ヲ考察スル際ニ、精神力ノ如何ト云フコトヲ、更ニ考慮ノ中ニ入レテ居ラスヤウデアリマス、此ノ體位、體力ト精神力ハ併セテ考ヘナケレバナラヌモノデアツテ、體力ト申シマシテモ、單ニ外形ノ體力ダケデハナクテ、此ノ精神力ヲ含シタモノガ體力デアルト考ヘルノデアリマス、隨テ我が日本國民ノ體位、體力ヲ外

國人ノ是等ニ比較致シマシテ、非常ニ遜色ガアルヤウニ外見上見エルノデアリマスケレドモ、外見ダケノ體位、體力デナク、此ノ精神力ト云フモノモ考慮ノ中ニ入レテ考ヘル時ニ、我が國民ノ體位、體力ガ外國ニ對シテ劣ツテ居ラナイト言フコトガ出來ルト思フノデアリマスガ、是ハ詳細ナル御調査ヲ御述べ下サルニハ、長時間ヲ要スルコトト思ヒマスノデ、資料ノ御提出ヲ願ツテ、之ヲ承知シテモ宜イノデアリマスケレドモ、簡單デアリマスナラバ、御

答辯ヲ煩シタイノデアリマス

尙ホ序ニ、資料ヲ御提出ニナリマスナラバ、モウ一ツノ資料ヲ御願シタイノデアリマス、ソレハ文部省ト厚生省ト御協定ノ内容ニ關シマシテ、ドウ云フヤウナ事ハ文部省デヤリ、ドウ云フヤウナ事ハ厚生省デヤリカ、唯學校及ビ學校以外ト云フコトダケデナク、モツト詳シイ御協定ニ相成ツタコトガアリマスナラバ、ソレモ一ツ資料トシテ戴キタイノデアリマス

○廣瀨國務大臣 只今ノ國民ノ體力ガドウ

云フ工合ノ大勢ニ在ルカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、軍部等ニ於テ數字デ色々示シタモノナドモ、御承知デアラウト思ヒマスガ、私ハ斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居リマス、日本ノ國民ノ體力ガ惡クナツタト云フコトハナイト思ヒマス、唯思フヤウニ向上シナイト云フコトハ事實デアルト思ヒマス、今數字ノ方カラ離レテ申上ゲマス、例ヘテ見マスト、肺結核ノ者ガ非常ニ殖エテ來テ居ル、ソレカラ或ハ又近視眼ノ如キ者モ非常ニ殖エテ來テ居ル、尙ホ筋骨薄弱ノ者モ殖エテ來テ居ル、實質的ニ見テサウ云フヤウナ點ハ随分アルノデハナイカト思ヒマス、ソレデヤハリ思フヤウニモツト進マナケレ

バナラヌノガ、抑ヘラレテ居ルト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、非常ニ惡クナツテ來タト云フヤウニハ、私モ考ヘテ居リマセヌ、ソレカラ體力ノ問題ニ付テハ、御話ノヤウニ無論精神力モ之ニ加ヘテ見ナケレバナラヌト思ツテ居リマス、厚生省ノ方デ是カラ施設ショウト思ツテ居リマス體力管理ノ制度デアルトカ、或ハ體力檢定ノ制度デアルトカ云フヤウナコトニ付テモ、精神力ヲ加ヘテ判斷スル積リデアリマス、併シナガラ是ハ難カシイ問題デ、數字的ニ現ハスコトモ困難デアリマスガ、趣旨トシマシテハ御意見ノ通りニ、ヤハリ精神力ヲ加ヘテ行カナケレバナラヌ、斯ウ考ヘテ居リマス

○佐々木政府委員 第三ノ文部省ト厚生省

トノ協定ノ出來タ事項、斯ウ云フ御質問デアリマシタガ、是ハ閣議ニ於テ決定シタ事項デアリマスガ、要スルニ體育ノ中ノ學校ニ於ケル正科、及ビ科外ノ體育運動ノ指導ニ關スル事項、校友會運動部、及ビ其ノ聯盟等ノ指導助成ニ關スル事項、學校所屬ノ體育運動設備ノ指導監督ニ關スル事項、學校ニ於ケル體育運動ノ指導者ノ養成ニ關スル事項、學校ニ於ケル教職員ノ體育運動ニ關スル事項、之ヲ文部省デ所管サレマス、

其ノ他ノ事ハ厚生省デ所管スルト云フコトニナツテ居リマス

○佐藤委員 宜シウゴザイマス

○庄司委員長代理 河合サン

○河合委員 私ノ御尋致シタイコトハ、モウ既ニ庄司委員カラ大抵御尋致シタノデアリマスガ、保護少年工ノ年齢ノ點デアリマスガ、先程ノ御説明ニ依リマス、凡ソ十六歳デ發育ガ止ル、十八歳ト云フノハ外國ノ例デアルト云フヤウナ御言葉ガアツタヤウニ承知致シタノデアリマス

〔庄司委員長代理退席委員長著席〕

御提出ヲ戴キマシタ中ノ産業労働者ノ身體發育狀況ト云フ資料ヲ、詳細ニ拜見致シマス、先程御説明ニナリマシタヤウニ、十六歳ガ日本人トシテ發育スル年齢ノ最後デアルト云フコトガ能ク分ル、此ノ調査ハ文部省側ニ於テモ御承認ニナツテ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、アノ労働科學研究所ノ暉峻博士ノ發表シテ居ル所ニ依リマス、思春期ノ後期、即チ十八歳マデガ發育期デアルト云フコトヲ名記サレテアリマス、又過日何カノ委員會ニ於キマシテ、陸軍當局ニ對シマシテ一人ノ委員ガ、徴兵ノ年齢ヲモウ少シ低下シタラドウカト云フコトヲ尋ネマシタ時ニ、慥カ陸軍大臣デアツタヤウ

ニ記憶シテ居リマスガ、青年ハ十八歳ヤナ九歳デハ、マダ身體ガ固マツテ居ナイト云フヤウニ陸軍省トシテハ認メテ居ルト云フコトヲ申サレタコトヲ記憶シテ居ルノデアリマス、サウ云フ點カラ考ヘマシテ、此ノ保護少年工ノ年齢ヲ庄司委員ノ申シマシタ如ク、ヤハリ十八歳マデ延バスノガ適當デハナイカ、斯ウ思ツテ居リマス、モウ一ツ私ノサウ云フ意見ヲ支持スル事實ガアルノデアリマス、ソレハ國民體位ノ低下ト云フヤウナコトハ、兩三年前ニ陸軍省ノ小泉醫務局長ガ「壯丁ノ體位低下ニ付テ」ト云フ「パシフレット」ヲ御出シニナツタノガ、抑、此ノ問題ガ喧シクナツタ初メデハナイカト思フノデアリマス、其ノ他内閣統計局ニ於キマシテ發表シテ居リマス統計ヲ見マシテモ、年々結核死亡者ノ數ガ殖エテ居ル、其ノ他國民ノ體位ヲ低下シテ居ル事實ヲ立證スル、幾多ノ材料ガアルノデアリマス、此ノ少年保護法ヲ御制定ニナリマシタノハ、私ノ記憶ガ間違ツテ居ルカ知リマセヌガ、慥カ大正五年ノ頃デハナイカト思フノデアリマス、其ノ當時カラ今日ニ至リマスマデノ間ニ於キマシテ、斯ウ云フ國民ノ體位低下ト云フコトヲ立證スル、幾多ノ事實ガ世間ニ現ハレテ來タノデアリマス、ソレデアリ

マスナラバ、大正五年當時ニ於テハ、少年保護法ノ年齢ガ十六歳デ適當シテ居ツタト御考ニナツテ居リマシテモ、モウ餘程年月ガ經チマシテ、其ノ間ニハ吾々ガ甚ダ憂フベキヤウナコトガ現ハレテ參リマシテ、サウシテ少年保護法ノ年齢ガ十六歳デ足レリト云フコトヲ立證スルモノハ、一ツモ無いデアリマス、ソレデアリマスカラ此ノ際少年保護法ノ年齢ヲ、十八歳マデ引上ゲラレル必要ガアル、ソレカラ先程ノ御答辯ニ於テ、我國デハ十六歳ガ成長スル終末ノ年齢デアル、十八歳ト云フノハ外國ノ例デアルト云フコトヲ申サレマシタガ、果シテソレガ事實ト致シマスナラバ、是ハ餘程憂慮スベキ事實デアルト私ハ思フノデアリマス、私ハ百姓ヲ致シテ居リマスノデ、卑近ナコトヲ例ニ取ツテ申スノデアリマスガ、白菜ヲ作りマシテモ、葱ヲ作りマシテモ、肥料ガ切レマシタナラバ早く蔓ガ立ツ、即チ早く花ガ咲クノデアリマス、肥料ガ十分利イテ居ルノハ蔓ガ立ツノガ遅イソデアリマス、隨テ人間ノ食糧トスル期間ガ長イノデアリマス、又ソレヲ食ヘバ美味ノデアリマス、肥料ノ少イノガ早く花ガ咲キマシテ早くマセル譯デアリマス、ソレデアリマスカラ、我國ノ少年ガ蔓ガ立ツ年齢ガ十六歳デアッ

テ、外國ノ少年ノ蔓ガ立ツ時期ガ十八歳デアルト云フコトガ事實トシタラ、是ハ由々シイコトデアルト思フノデアリマス、我が國民ニ肥料、即チ營養ガ足りナイ一ツノ證據デアルト思フノデアリマス、サウ云フ點カラ考ヘテ見マシテモ、此ノ十六歳ト云フコトヲイツマデモ御譲リニナラズシテ、生産力ノ點カラ申シテモソレハイケナイト云フコトヲ、或ハ言ハレルカモ知レマセヌガ、私ハ寧ロ反對ナノデアリマス、自分達ノ身ノ上ニ付テ考ヘテ見テモ、午後一時カラ午後六時頃マデ引續キ議會ニ參ツテ居リマシテモ、相當私達ハ疲勞ヲ感ズルノデアリマス、今日ノヤウニ會期ガ終リニナツテ來マス、非常ニ疲レテ參リマシテ、其ノ間ニハオ茶ヲ吞ンダリ、煙草ヲ喫ンダリスルヤウナコトヲシナケレバ、六時マデハ堪ヘ切レナイノデアリマス、朝ノ六時カラ夜ノ七時マデ働ク、其ノ中三十分乃至一時間ノ休息ノ時間ガアルト致シマシテモ、ソレヲ加算致シマスルト七時ニ工場ニ入りマシテ、八時マデ居ルト云フコトハ、自分達ノ身ニ較ベマシテモ、殊ニ少年ノ時代デアリマスカラ、ソレハ私ハ非常ニ苦痛デアラウト思ヒマス、一體小學校ニ通ツテ居ルハツ、九ツ、十位ノ子供ニ、田舎ニ於キマシテハ母

親ナリ、親父ナリガ色々ナ用ヲ言付ケマシ
テ、サウシテ其ノ命令ニ服シマセスト、之
ヲ叱ルコトヲ能ク見ルノデアリマスケレド
モ、私ハアノ年頃デアラナラバ、遊ブコト
ガ仕事デアルト見テ居ル、ソレデアリマス
カラセメテ十八歳マデハ、少シノ餘裕デモ
與ヘテ遣ラナイト、其ノ時間ヲ適當ニ按配
致シマシタナラバ、私ハ工場デ働クコトガ、
工場ニ於ケル一ツノ教育力ガアルト思ヒマ
ス、併シソレガ度ヲ過シマス教育力ガ零
ニナリマシテ、反對ノ結果ヲ來スト云フヤ
ウナ事實ガアルト、私達ハ信ジテ居ルノデ
アリマスカラ、此ノ點ハ能ク御考慮ヲ願ヒ
タイ、大正五年ニ御制定ニナツタモノデ、
イツマデモ押通サウト云フヤウナ御考ハ、
一ツ御考慮ヲ願ツタドウカト思フノデア
リマス、ソレデアリマスカラ私ハ此ノ點ニ
付キマシテハ、庄司委員ガ申シマシタコト
ニ、絶對ノ賛意ヲ表スル者デアリマシテ、
厚生省ニ於カレマシテモ、モウ一ツ御考ヲ
シテ戴キタイト思フノデアリマス、ソレカ
ラ今申シマシタコトニ關聯シタ時間ノコト
デアリマスガ、十一時間ト云フコトモ一ツ
御考慮ヲ願ヒタイト思フ、私達成長シ切ツ
タ者ニ致シマシテモ、十一時間ト云フコト
ハ、モウ私達ハヨウ堪ヘマセヌ、ソレハオ

役所ニ御務ニナツテ居ル方モサウデアリマ
セウ、朝十時カラオ出デニナツテ——議會
中ハ夜遅クナルヤウニ承ツテ居リマスガ、
普斷デモ御退廳マデ一生懸命ニヤラレルナ
ラバ、相當御疲勞ヲ覺ヘラレルノガ本當デ
アラウト思ヒマス、ソレガ朝ノ七時カラ工
場ノ門ニ入ツテ夜ノ八時マデ居ル、而モ其
ノ間ニ成長シナケレバナラヌ體內的ノ勞働
ヲ盛ニヤル時ニ於テ、殊ニ思春期ノ後期マ
デハ、其ノ爲ニ「エネルギー」ヲ消耗サレル
ノデアリマスカラ、其ノ上ニ七時カラ八時
マデ工場ノ陰慘ナ空氣中ニ居ルト云フコ
トハ、強キ國民ヲ養成スル所以デハナイト
思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ、
少年保護法ノ十八歳デハイケナイト云フ同
ジ理由ニ於キマシテ、此ノ勞働時間十一時
間ト云フヤウナコトニ、改訂ヲ一ツ斷行シ
テ戴イタラドウカト思フノデアリマス、ソ
レカラモウ一ツハ昭和十年ノ工場監督年報
ヲ見マスルト、保護職工ヲシテ法定時間ヲ
超エテ就業セシム、是ガ昭和九年ニ於テ其
ノ違反ノ件數ガ三千四百十五件デアリマシ
テ、昭和十年即チ一箇年ノ間ニ五千三百九
十四件ニナツテ居リマス、其ノ他保護職工
ヲシテ、深夜業ニ使ツタ違反ニ致シマシテ
モ、昭和九年ハ六十四デ、昭和十年ガ九十

六トナツテ居リマス、保護職工ニ法定ノ休
憩休日ヲ與ヘザルト云フ違反ガ、昭和九年
ニハ百五件デアリマシテ、昭和十年ニハ百
五十件アルノデアリマス、斯ウ云フヤウニ
其ノ後ノ統計ハ私ハマダ見テ居リマセヌカ
ラ分リマセヌガ、此ノ九年ト十年ト見マ
シテモ、是ダケノ違反ガ増加シテ居ルノデ
アリマス、ソレデアリマスカラ私ハ斯ウ云
フ風ニ、今度ノ法案ガ法律トナリマシタ曉
ニ於キマシテハ、人情ト致シマシテ傭主ハ
ヤハリ違反ヲ行フ傾向ガ濃厚デハナイカト
思フノデアリマスカラ、現在ノ罰則其ノ儘
ニ致シテ置キマシテハ、此ノ傾向ヲ阻止ス
ルコトハ困難デハナイカト思フノデアリマ
ス、ソレデ罰則ノ點ニ付テ、何カ御考慮ナ
サツテ居ナイカト云フコトモ、承ツテ置キ
タイト思ヒマス、先ヅ其ノ三點ヲ御伺スル
譯デアリマス

○成田政府委員 大體先程私ガ御答辯申上
ゲタコトニ關聯ヲ致シマスノデ、私カラ便
宜御答ヲ申上ゲマス、一番最初ニ發育ノ狀
況ノ問題ニ付キマシテ、或ハ私ガ先程申上
ゲマシタコトガ、不十分デアツタカト思ヒ
マスガ、私ノ申上ゲマシタ趣旨ハ、十六歳
程度デ止マルト云フ意味デハゴザイマセヌ、
十二三歳カラ十六歳マデガ非常ニ急「カー
ブ」デ發育ヲシテ居ル、其ノ後發育ノ
「テンポ」ガ緩クナル、斯ウ云フ意味デ申上ゲ
タ積リデアリマスガ、或ハ言葉ガ足ラナカ
ツタカト思ヒマス、十六歳以後ニ於キマシ
テモ相當發育成長シテ居ルノデアリマス、
隨ヒマシテ只今御意見デアリマシタヤウニ
十六歳ニ止メズニ、此ノ年齢ヲ更ニ引上ゲ
ルト云フコトハ、是等ノ勞働者ニ對スル保
護ノ立場カラ見マスルト、洵ニ望マシイコ
トトハ考ヘテ居リマスケレドモ、此ノ點モ
先程庄司サンノ御質問ニ對シテ御答シマシ
タ通り、勞働者ノ保護ノ問題ニ付キマシテ
ハ、後デ御述べニナリマシタ十一時間ノ時
間ヲ短クスルト云フヤウナ問題モゴザイマ
スシ、色々關係スル點モアリマスノデ、サ
ウ云フ點ハ今後私共勞働行政ニ當ル者ハ、
全般的ニ此ノ勞働保護ノ制度ニ付テ、各方
面ニ互ツテノ改善ヲ是非研究シナケレバナ
ラス、其ノ場合ニ採上ゲルベキ重要ナ問題
デアルト考ヘテ居ル次第デアリマス、今申
上ゲマシタコトハ、十一時間ト云フ現在ノ
法制ノ下ニ於テ許サレテ居リマスル最長時
間ニ付テモ同様デアリマシテ、十一時間ガ
最モ宜イト云フコトハ決シテ申セナイト思
フノデアリマス、極端ニ短クスル必要モナ
イト思ヒマスケレドモ、十一時間ヲ或ル程

度更ニ短縮スルコトガ出來マスレバ、ソレハ一層宜シイコトデアルト、私共モ考ヘテ居リマスガ、其ノ時期ナリ其ノ程度ト云フコトニ付テハ、今後十分ニ研究シタイト存ジテ居リマス

ソレカラ最後ニ色々ナ工場法違反ガ殖エテ居ルト云フヤウナ實情カラ發足シテ、ソレニ對スル考慮ヲ持ツテ居ラスカト云フ御尋デアツタノデアリマスガ、工場法ニ付キマシテハ御承知ノヤウニ、千圓以下ノ罰金ト云フノガ付イテ居リマスシ、必ズシモ罰則ガ非常ニ輕イト云フ風ニハ、現在私共考ヘテ居リマセヌ、併シナガラ斯様ナ休憩時間ナリ、休日ニ付テノ違反ニ付テハ、從來モ十分氣ヲ付ケテ居ツタ積リデアリマスケレドモ、今後一層氣ヲ付ケマシテ斯様ナコトノナイヤウニ、隨ヒマシテ青少年職工ノ保護ニ缺クルコトノナイヤウニ、十分留意ヲシテヤツテ行キタイト存ジテ居リマス

○河合委員 先程申シマシタヤウニ、私ノ記憶ガ間違ツテ居ルノカ知リマセスケレドモ、保護少年工ノ規定ガ制定サレマシタノハ、大正五年デアツタト致シマスルナラバ今日ニ至リマス間ニ相當年月モ經ツテ居リマスシ、殊ニ他ノ各方面ニ於キマシテハ、色々ノ變革ガ行ハレマシテ、昨年ノ議會ノ

如キハ總動員法ト云フヤウナ法律モ制定サレ、或ハ電力國家管理法ト云フヤウナ法律モ出來タノデアリマス、時勢ハ急「テンポ」ヲ以テ進展シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラヤハリ人的資源ノ確保ト云フヤウナ點カラ考ヘマシテ、此ノ年齢ヲ十八歳ニスル、或ハ十一時間ヲモ少シ短縮スルト云フヤウナコトハ、私ハ今後ノ國民ノ體力、或ハ體力バカリデハアリマセヌ知能、或ハ先程佐藤サンカラモ申サレテ居リマシタ精神力ヲ養成スル點カラ申シマシテモ、私ハ其ノ必要ガアラウト信ズルノデアリマス、モウ既ニ其ノ時機ニ到達シテ居ルト思フノデアリマスガ、當局ニ於カレテハ、其ノ點如何ニ御考ヘニナルノデアリマセウカ、執拗イヤウデアリマスルガ、重ネテ御尋ヲシタイトデアリマス

○廣瀨國務大臣 只今ノ御意見、私共モ情ニ於テハ洵ニ其ノ通りニ思ヒマス、唯併シスウ云フ勞働立法ヲ行フニ付キマシテハ、全體ノコトモ無論考ヘナケレバナラス、ソレカラ先程御話ノ中ニモアリマシタガ、ヤハリ今日ハ産業上非常ニ勞働力ヲ要求シテ居ル時デアリマスノデ、急激ナ變化ヲ與ヘルコトハ如何ナモノト云フコトヲ、先ヅ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、又今日デハ

青年學校ノ義務制ガ行ハレ、之ニ步調ヲ合ハセル、サウシテ青年學校ノ義務制ニ依ツテ、重イ負擔ニナラスヤウニスルコトヲ中心ニ考ヘテ、先ヅ歩ヲ進メテ、ソレカラ之ニ倣ツテ又或ハ十八歳ノ問題モ起キマセウ、或ハ十一時間ヲモ少シ短縮スル問題モ起リマセウガ、是等ハ逐次進ムベキモノデハナイカ、斯ウ私ハ考ヘテ居リマス、現在ニ於テハ不十分、不満足ノ點モアリマセウガ、現在ノ實情ニ急激ナ變化ヲ與ヘナイト云フコトト、ソレカ現在産業勞働ニ關スル要求ガ非常ニ廣イ時デアリマス、勿論國民體力、體位ノ問題モ重要デアリマスケレドモ、之ニ付テハ逐次ニ進ムコトガ妥當デハナイカ、斯ウ思フノデアリマス、ソコデ不十分デハアリマスガ、現在ハ此ノ程度ヲ以テ満足シテ行カナケレバナライ、斯ウ考ヘテ居リマス

○河合委員 私ノ考ヘル所ニ依ルト、生産力ヲ減退サセナイト云フ點カラ考ヘマシテモ、モウ少シ手加減スル方ガ、好結果ヲ來スノデハナイカト考ヘテ居リマス、其ノ點ト、只今大臣ノ御答辯ノ中ニモアリマシタガ、今後十七歳、十八歳、十九歳ノ年齢ニ該當スル青年ノ上ニモ考ヲ及ボスト云フコトヲ申サレマシタガ、私ハ此ノ點ハ十四年

度ハ唯一年ニ義務制ヲ布クノデアリマスカラ、現在ニ於テハ其ノ必要ヲ認メナイト思ヒマスガ、總テ二年ニモ布キ、普通科バカリデハアリマセヌ、五年ニモ義務制ヲ段々増シテ行カレルコトト思フノデアリマスガ、或ハ其ノ時機ガ到來致シマシタ際ニ、又時間ノコトヲ御考慮ニナルノデハナイカト云フコトヲ、密ニ考ヘテ居ツタ譯ナンデアリマス、ソレデアレバ今日ソレニ付テ、彼此レ論議スル必要ガナイノデアリマスケレドモ、若シサウ云フヤウニ御考ヘニナツテ居ナイトスルナラバ、本科五年ガ出來マシタナラバ、其ノ年齢ハ十九歳ニナルト私ハ思フノデアリマス、ソレカラ十六歳カラ十九歳、即チ三箇年ノ茲ニ隙ガ出來ル譯デアリマスガ、將來之ヲ又考慮シテ、何カ法ヲ制定スルト云フ御考デアリマスレバ、マダ時日ガアリマスカラ宜イノデアリマスケレドモ、將來モサウ云フコトヲ考ヘテ居ナイト云フ漠トシタコトデアレバ、只今御注意ヲ喚起シテ置キタイト思フノデアリマス、其ノ點甚ダ簡單デアリマスガ、ハツキリシテ置キタイト思フ

ソレカラ序ニ引續イテ御尋ヲシタイト思フノデアリマスガ、私ハ此ノ青年學校ノ義務制ノ法案、又本日審議シテ居リマ

ス此ノ法案ハ、甚ダ小サイヤウナ問題デアリマスケレドモ、私は是ハ全國ニアル五百万ノ勤勞青年ヲ包容スル教育ノ制度デアリマスカラ、非常ナ重大ナ問題デアルト心得テ居ルノデアリマス、將來此ノ中カラ國家ヲ背負ツテ立ツ幾多ノ傑物モ出マセウシ又多クノ優秀ナ職工モ出テ來ルト思フノデアリマスカラ、私ハ寧ロ此ノ青年學校ノ教育ニ、國民教育ノ重點ヲ置ク必要ガナイカト思フノデアリマス、サウ云フ點カラ考ヘマシテモ、過日モ文部大臣ニ進言ヲ致シタルデアリマスガ、東京所在ノ各官廳ニ勤メテ居ル青年、此ノ年齡ニ該當シテ居ル青年達ノ爲ニ、各主務省ガ聯合シテ、此ノ制度ノ下ニ一ツ模範ノナ青年學校ヲ拵ヘテ戴イタラドウカ、或ハ寄宿舎、又ソレニ少シ加味致シマシテ——現今デハ殆ド主務省ニ勤メテ居リマス青少年ハ、夜學ニ通ツテ居ルノデアリマスケレドモ、晝長時間役所ニ居リマシテ、又夜學ヲ致スト云フコトハ、ソレハ千人ノ中ニ一人位ハ成功スル人モアリマスケレドモ、殆ド總テハ健康ヲ損ヒ、餘リ香シカラヌ結果ニ終ルノデヤナイカト思ヒマスカラ、一ツ範ヲ天下ニ示スト云フ意味ニ於キマシテ、厚生省ニ於テモ其ノ年齡ニ該當シテ居ル青年ノ爲ニ理想的ナ、模範

的ナ青年學校ヲ設置シテ戴イタラドウカト思ヒマス、聞ク所ニ依リマスレバ、現今デハ陸軍省ト文部省ニアルダケダサウデアリマス、又是ハ少シ横道ニ外レマスガ、一ツ詰ラナイ意見デアリマスケレドモ、聽イテ貰ヒタイト思ヒマス、過日新聞ノ發表スル所ニ依リマス、平沼總理大臣ハ富豪カラ二百萬圓ノ寄附ヲ募集シテ、何處カ景色ノ好イ所ニ、昭和塾ト云フ私塾ヲ御始メニナルト云フ記事ヲ見タノデアリマス、私ハ之ニ對シテ一ツノ不滿ヲ持ツテ居ル、何故ナラバ平沼總理大臣ガ在野ノ人デアラナラバ、自分ノ教育上ノ理想ヲ實現スル爲ニ、サウ云フコトヲナサツテモ宜イガ、アア云フコトヲナサルノハ、我國ノ教育制度ニ不滿ガアツテ、現制度ノ下ニハ自分ノ理想ヲ實現スルコトガ出來ナイカラト云フノデ、現制度ノ外ニ立ツテアア云フモノヲ御始メニナルコトダラウト思フガ、總理大臣トシテハ、現制度ニ不滿ガアルナラバ、何故其ノ不滿ナ點ヲ制度化スルコトニ進マレナイカ、斯ウ云フ不滿ヲ私ハ持ツテ居ル、ソレカラ若シ現制度ノ下ニヤルト云フコトナラバ、現在ノ制度ハ良イケレドモ、ドウモ自分ノ思フヤウナモノガナイト云フコトナラバ、一ツ現制度ノ内部カラ補強完成

ノ爲ニ努力シテ戴イタラドウカ、其ノ爲ニハ只今申シマシタ二千有餘ノ青少年ノ爲ニ——ソコラニ澤山空地ガアリマス、議會ノ周圍ニモ澤山空地ガアル、アレハ何レ官有地ダト思ヒマスカラ、アア云フ所ニデモ青年學校ヲ建テテ、體育上、知育上、或ハ情操陶冶ト云フ點カラ、此ノ青年學校ノ制度ノ中ニ立籠ツテ、財政ノ關係上國費デヤルコトガ出來ヌト云フナラバ、平沼サンガ今御計畫ナサツテ居ルヤウニ、軍需工業デ儲ケタ人達カラ寄附ヲ仰イデモ宜イ、ソレハ現在デモ大學ノ講堂デ、何々富豪カラノ寄附金ニ依ツテ建設シタモノガアルカラ、ソレハ構ハナイト思ヒマス、私ノ申スコトガ甚ダ横道ニ外レマシタケレドモ、少クトモ厚生省ニ於テハ厚生省ニ働イテ居ル青少年ノ爲ニ、體育或ハ知育、情操ノ陶冶ト云フヤウナ點カラ、一ツ完成シタ模範的ナ青年學校ヲ、此ノ制度ノ範圍内デ設ケラレタラドウカト思フノデアリマス、是ハ餘計ナコトデアリマシテ、別ニ答辯ヲ戴カナクトモ宜シイノデスガ、若シ戴ケレバ結構デアリマス

致シテ、其ノ上デ此ノ問題ヲ何時カラ實行スルカ、或ハドウ云フ工合ニスルカト云フコトヲ決メナケレバナラヌト思ヒマス、隨テ只今其ノ時期或ハ年齡ヲ申上ゲル譯ニハ行キマセヌガ、是ハ私共モ十分同情ヲ以テ、慎重ニ考慮シテ進ミタイト思ツテ居リマス、ソレカラ尙ホ私ノ省ニ青年學校ノ適當ナモノヲ設ケタラドウカト云フ點ニ付キマシテハ、十分ニ考慮ヲ致シタイト思ヒマス

○野村委員長 南君

○南委員 私ハ明日六委員室ニ於テ健康保險法ニ關聯シテ、國民健康問題ニ付テ厚生大臣ニ御尋シタイノデスガ、本日私ノ尋ネントスルコトハ、庄司君、河合君等ニ依ツテ質問セラレマシタ、併シドウモ先程ノ御答辯ニ満足出來ナイノデアリマス、若シアレデ満足出來タナラバ、私ハ質問シナクテモ宜カツタノデアリマス、本案ハ十六年説ガ根本デアリ、先程局長サンハ統計カラ出タ十六年デアルト言ハレタガ、其ノ統計ナルモノハ、果シテ如何ナル統計デアルカ、私モ健康問題ニ付テハ、我國ハ勿論世界各國ノ統計ヲ集メテ居リマスガ、サウ云フヤウナ統計ヲ見タコトガアリマセヌ、先ヅ實際カラ申セバ、アナタ方ノオ坊ツチヤン、オ嬢チヤンガ既ニ十六歲デ成熟シ切ツタモ

ノデアアルカドウカト云フコトヲ考ヘテモ分
リ切ツタコトデアアル、統計ナドト云フモノ
ハ、勝手ニ作ツタモノデハナク、自然ノ現
象ノ結果デアアル、ソナ統計ハアリマスカ、
徴兵検査場ニ於テモ發育不完全ナル者ハ、
翌年廻シト云フコトハヨクアルコトデ、又
滿二十一歳ニナツテカラ検査シ直スト云フ
コトヲ聞イテ居リマス、又安達謙藏サン等
ハ、徴兵適齡ヲ低下シテ十九歳ニシテハド
ウカト云フ持論ノヤウデアリマスガ、之ニ
對スル政府ノ意見トシテハ、常ニソレデハ
マダ未熟デアルト云フコトデアアル、私ハ大
阪ノ者デ、鑛山ノ方ハ餘リ知リマセヌガ、
工場、商店ニ働ク者ノコトニ付テハ能ク知
ツテ居リマス、又私ノ村或ハ其ノ附近カラ
通勤シテ居ル者モアリ、自分ガ世話ヲシテ
居ル者モアル、ソレカラ資本家、我ハ商店
主、工場主ニモ多數ノ親戚又ハ友人モ持ツ
テ居ル、數百人、數千人使ツテ居ル人モ知
ツテ居リ、ソレ等ノ工場主ノ相談相手ニモ
ナツテ居ル、所デ労働者ハ一體如何ナル者
ガ最モ良イカト申スト、少年工カラ成上ツ
タ熟練工ガ最モ良イ、農業ヲヤツテ居ツタ
ガ、農業デハ飯ガ食ヘスト云フコトカラ工場
ニ走ツタ者ハ、ドウシテモ熟練工ニナレナ
イ、義務教育ヲ了ヘタダケデ、何等手ニモ

ノガ染マツテ居ナイ時ニ工場、商店ニ入込
ンデ、先輩カラ習ヒ或ハ體得體驗シタ者
ハ、大變良イ熟練工ニナレル、熟練工ノ必
要ナルコトハ勿論デ、私カラサウ云フコトヲ
申上ゲタラ釋迦ニ説法カモ知レヌ、殊ニ纖
維工業ノ發達ノ如キハ、何ト言ウテモ日本
人ノ此ノ指ニ依ルモノデアルト云フ位ニナ
ツテ居ル、ソレガ精密工業ノ發達シタ原因デ
アル、ソレガ纖維工業ヲ良クシタ、纖維工
業其ノモノガ直接良クナツタノデハナイ、
此ノ日本人ノ指ガ、將來世界ヲ征服スル所
ノモノデアルト云フコトカラ、ズシ／＼意
見ガ高マツテ、少年工ト云フモノハ最モ大
事ナモノデアルト云フコトガ、近來大イニ
分ツテ來タ、是ハ厚生省デモ左様ニ考ヘテ
居ルデアラウト思フ、ソコデ最モ大事ナモ
ノハ、小學校ヲ卒業シテ——此ノ頃マア試
驗ヲ受ケテ中學校ヘ入レナケレバナラヌト
言ツテ居ルガ、是ハ中學校カラ段々上ノ大
學マデ行クト云フ、サウ云フ人デハナイノ
デス、義務教育ヲ了ヘテ、サウシテ生活ノ
爲ニ工場ヘ飛込ム者、是ガ將來ノ日本ヲ背
負フノデス、産業ハ國內ダケノモノデハナ
イ、貿易振興ノ産業デアアル、國內ダケノモ
ノダツタラ、紙ノ衣ヲ著テ居ラウガ、筵ヲ
敷イテ坐ツテ居ラウガ、ソレハ宜イデセウ

ガ、産業貿易振興、是ナンデス、此ノ熟練
工ヲシテ益、熟練工タラシメテ、産業ノ中堅
ニナル、先ヅ以前ハ人間ノ體ナドト云フモ
ノハ、肺病ニシテ倒シタラ、又餘ノ者ヲ取
換ヘテ來ル、丁度牛ノ入換ミタイナ工合ニ、
人間ヲ取扱ウテ居ツタ時代ガ、明治カラ大
正ニ掛ケテアツタコトハ、是ハ厚生大臣モ
認メテ居ラレルダラウト思フ、此ノ頃ノ軍
需工業ニ於キマシテモ、貿易産業ニ於キマ
シテモ、機械ハ何時デモ取換ヘラレルガ、
此ノ熟練工ハ中々得ラレナイト云フコトノ
爲ニ、マア一方ニ於テハ非常ナ優遇モシテ
居リマスガ、兎ニ角大事ナコトデアアル、ソ
レノ詰リ候補者、卵ナルモノハ此ノ度ノ法
文ノ上ニ現レテ居ル十六歳未満説ナンデ
ス、ドウシテモ私達ハ、何ガ爲ニ厚生省ガ
文部省ノ出シタ十六歳ト云フコトニ賛成ヲ
シタノカ、是ハマアアナタ方ノ方デハ文
部省デアラウガ、厚生省デアラウガ、一ツ
ノモノデスカラ、共同ノ責任ヲ持タナケレ
バナラヌ、之ニ付テ私ハ、文部省ガサウ言
ツテモ、國民全體ノ健康ヲ司ル厚生省ガ、
斯ウ云フコトニ賛成シタコトニ付テ、私ハ
非常ニ不滿ヲ持ツテ居ル、先ヅ私等ハ厚生
省ガ出來ル時ニデモ、何ト云フ名前ヲ附ケ
ルダラウカ、労働省ダラウカ、保險省ト言

フダラウカ、社會省ト附ケルダラウカト云
フコトヲ、諸外國ノ例ヲ取りマシテ考ヘテ
居ツタ所ガ、ヤハリ東洋流ニ厚生省ト御附
ケナサツタ、是ハ非常ニ結構ナ名稱デアリマ
ス、此ノ厚生省ガ我國ニ出來マシタコトガ、
確ニマア二十年ヲ遅レテ居ルコトハ、是ハ
厚生大臣モ御認ニナルダラウト思ヒマス、
既ニ國民ノ保健ハ總テノ國家繁榮ノ基礎デ
アルト云フコトデアアル、二・二六事件ノコト
ハ、マダ此ノ檢討スラモ許サレナイガ、世
界中ノ言論界ハ筆ヲ揃ヘテ、近時日本ハ驚
クベキ繁榮ヲシテ居ル、軍事國防ニ於テ、貿
易産業ニ於テ、其ノ他對外的ニモ驚クベキ
發展ダガ、獨リ内政ノミガ二十箇年取殘サ
レテ居ル、ソレガ即チ彼ノ不祥事ヲ生シタ
ノデアルト云フ工合ニ、異口同音ニ言ツテ
居リマスガ、二・二六事件ガナカツタラ、或
ハ此ノ厚生省ハ今時分マダ出來デ居ラナカ
ツタカモ分ラナイ、社會院トカ厚生院位ノ名
前デアツタカモ知レヌ、是ハ申セバ非常ニ
諄クナリマスガ、今マデノ産業保護政策ハ、
非常ニ人身供養トナツテ、非常ニ結核病ガ
殖エテ來タ、紡績工場ノ昔ノ寄宿舍アタリ
ヲ見タラ、マルデ監獄部屋デヒドイモノデ
アツタガ、私ノ見ル所デハ、今日ノ寄宿舍
ナドハ、高等女學校ヤ何カノ寄宿舍ヨリ、

マダ紡績工場ノ寄宿舎ノ方ガ立派デアル、

併シ昔ハ其ノ位デアルカラ、ソレハ目茶苦

茶デス、ソレデモウ一人結核ニナツテ農村

ニ歸ヘルト云フト、ソレニ對スル知識モナ

シ、醫者モナシデドン、殖エテ居タコト

ガ、マア今日はガ出來タヤウナコトニナツ

テ居ル、ダカラサウ云フコトカラ見レバ、

今日マデノ保護政策ト云フモノハ實ニ

片務的デアリ、偏重的デアリ、片手落ナ

爲ニ非常ニ體位ガ低下シテ來タ、斯ウ

云フコトノ爲デスカラ、厚生省ハ出來ル

ダケ「スピード」デ、駆足ヲシテ總テノ産

業トカ、有ユルモノニ平衡ヲ保ツヤウニ

走ラナケレバナラヌモノデアルト考ヘテ居

ル、此ノ豫算ノ如キデモ、現在デハ事變下

デアリマスカラ、先ヅ其ノ方ヘ非常ニ力ヲ

入レテ居ラレルコトハ、私異存ガアリマセ

スガ、之ニ依ツテ見マシテモ、此ノ十六歲

説ト云フコトニ於テ、實ニ不滿ニ堪ヘナイ

ノデスガ、此ノ法律ヲ見マシテ、ソレヲ二

三年ノ後ニ時期ガ來タヤルデアラウ、マ

ア是位デヤツテ見ルンダト云フヤウナ御答

ニハ、一寸満足シ兼ルノデス、ソレヨリ此

ノ際之ヲ十八歲トカト云フヤウナ工合ニ、

拔本塞源ノコトヲアル意思ガ、厚生大臣

ニアルカナイカト云フコトヲ、一ツ御尋シ

タイト思ヒマス

○廣瀨國務大臣 厚生省ノ仕事ニ付キマシ

テ、出來ルダケ一ツ進シテ態度ヲ執レト云

フ御趣旨ニ付キマシテハ、私共モ洵ニサウ

思ヒマス、色々昨年一月生レテカラ今日マ

デヤツテ來テ居リマスガ、中々思フヤウニ

參リマセヌ、併シ將來尙ホ一ツ大イニヤラ

ウト思ヒマス、ソコデ今ノ十六歲ノ問題デ

アリマスガ、是ハ先程モ申上ゲマシタヤウニ

勞働立法トシテ十六歲以下ヲ保護職工ト

シテ工場、鑛山、ソレカラ商店等ニ付テモ

行ハレテ居ル譯デスガ、之ヲ變ヘルト云フ

コトハ、中々大キナ影響ガアル、現在ハ申

上ゲルマデモナク、見方ハ色々アリマセウ、

議論ハアリマセウガ、私共ハヤハリ勞働ニ

對スル需要ガ非常ニ多イ、産業ノ勞働ニ對

スル要求ガ多イ時デアルカラ、マア皆シナ

斯ウ云フ際デアルカラ、苦勞シテモ働イデ

貰ハナケレバナラヌ、故ニ急激ニ産業界ニ

變化ヲ與ヘテハナラヌ、ソレハ勞働者保護

ノ立場カラ言ヘバ十八歲、十七歲ハ結構デ

アリマセウ、併シ産業ノ方面ニ於テ急激ナ

ル變化ヲ與ヘテハナラヌ、ソレ是レヲ考ヘ

合セマシタ結果、義務教育トシテ青年學校

令ガ施行サレルニ付テ、必要已ムヲ得ザル此

ノ程度ノ立法ハ無論シナケレバナラヌ、是

等ノ方面カラ考ヘテ、今日デハ十六歲ヲ以

テ最モ妥當ナル所ナリト、斯ウ判斷ヲ致シ

タ譯デアリマス、併シ先程モ申上ゲマシタ

ヤウニ、將來ノ問題トシテハ、十分勞務者ニ

對シテ同情ヲ持ツテ、又一面體位ノ向上ト

云フ見地カラモ能ク考ヘテ、適當ナ方法ヲ

執リタイ、斯ウ云フ考ハ十分ニ持ツテ居ル譯

デアリマス、今トシテハ十六歲ヲ以テ妥當

ナリト信ジテ、提案ヲ致シテ居ル譯デアリ

マス

○南委員 サウ致シマス、大臣トシテハ

十六歲ハ不満足デアルガ、現在ノ時勢トシ

テハ適切デアルト、斯ウ云フヤウニ解釋シ

テ宜イノデスカ

○廣瀨國務大臣 十六歲デハ勞働者ノ保護

ノ見地等ヨリ見レバ、十分デハナイト思フ、

併シナガラ全體ノ見地カラ見レバ、十六歲

ヲ以テ今日ハ妥當ナリトスル、斯ウ云フ意

味デアリマス

○南委員 私ハ是デ終リマス

○椎尾委員 先程一寸拔ケテ居リマシタノ

デ、少し不十分デアリマスガ、只今ノ御話

ノ十六歲ノ問題ニ付テ御伺シマス、曩ニ青

年學校ノ案ニ付テ檢討シテ居リマスル間ハ

勞働就業時間ノ中ニ學校ノ方ノ時間ヲ見テ、

何レ其ノ案ガ出ルト云フコトデ通ツタノデ

アリマシテ、其ノ時分ノ私共ノ考ハ青年學

校ハ十九歲ノ義務制ヲ執ツテ確定シテ居ル

ノデアリマスカラ、ソレニ伴ツテ青年ノ勞

働就業時間ヲ、此ノ中ニ入レラレルト云フ

コトデ、十九歲マデ行クモノダト私ハ考ヘ

テ居ツタノデスガ、文部省ノ方ト無論打合

ノ結果デアルコトハ明瞭デアリマスケレド

モ、其ノ結果ニ達シマスルマデニハ、意見

ガ大分違フト思フノデアリマス、文部省ノ

方ノ青年學校ハ、滿十九歲マデト云フニ拘

ラズ、厚生省ノ方デハドウシテモ十六歲デ

ナケレバナラヌト云フコトデ、其ノ間ノ論

議ガ盡サレテ、斯ウ云フコトニナツタノデ

アリマスガ、或ハ只今ノヤウナ御趣意デア

ルカラ、今ノ所デハ唯勞働者保護ノ十六歲

ト云フコトニナツテ居ル事情ト、差當ツテ

ハ一年、二年ノ行ヒダケデ、十六歲マデデ

用ガ足ルカラ、何レ近キ中ニ改正スルカラ

ト云フコトデ、其ノ間ノ問題ガ解決サレテ

居ルノデアリマスガ、文部省トノ相互關係

ハ、ドウ云フ風ニナツテ居ルノデアリマスガ、

青年學校案ノ時ニハ、十六歲マデシテ置ク

ト云フヤウナ話ハ、チツトモ出ナカツタト

思ツテ居ルノデスガ、如何デアリマスガ

○田中政府委員 只今椎尾委員カラノ御質

問デゴザイマスルガ、此ノ前ニ青年學校ノ

補助法ノコトヲ審議致シテ居リマスル當時

ニ、田子委員カラノ御質問ニ對シマシテ、私御答シタノデアリマスガ、其ノ法デ問題

ニナツタノハ、勞働時間ノ制限ノアリマス

ル勞働者ノ就學ノ時間ニ付キマシテハ、之ヲ勞働時間ノ中ニ算入スル、斯ウ云フ風ニ

申上ゲタノデゴザイマシテ、無制限ニ總テ

勞働時間ニ算入スルト云フ風ニ申上ゲタモ

ノデナイヤウニ、實ハ記憶シテ居ルノデア

リマス、ソレデ只今ノ法制デゴザイマスル

ガ、只今ノ法制ニ付キマシテハ、私當時申

上ゲマシタヤウニ、青年學校ノ義務教育ヲ

布クト云フコトヲ、政府ノ方針ト致シマシ

テ、昨年閣議デ決定致シマシテ以來、厚生省

ト色々御協議ヲシ、厚生省ニ於キマシテハ

同情ヲ持チマシテ、此ノ立案ニ當ツテ居ラ

レルノデアリマシテ、終始隔意ナキ連絡協
調ノ下ニ、今回ノ案ガ出來マシタヤウナ次
第デゴザイマス

○田中政府委員 現行制度ノ下ニ於キマシ

テ、勞働時間ノ制限ガ、既ニ行ハレテ居リ

マスモノニ付キマシテ、ソレニ對シマシテ

勞働時間ノ中ニ、就學時間ヲ算入致シマス

ニ付キマシテハ、時間ノ制限ガ法定サレテ

居ルト云フコトガ、前提ニナラナケレバ出

來ナイト思ヒマスノデ、相當時間ノ制定ノ

アルモノニ付キマシテ、其ノ時間ノ中ニ就

學時間ヲ入レルト云フコトヲ申上ゲタノデア

リマス、其ノ意味ハ茲ニ書イテアリマス法

律ノ文字ト内容ニ於テハ、違ツテ居ナイト

考ヘテ居リマス

○田子委員 今ノコトニ一寸關聯シテ――

今勞働法ノコトニ付御尋ガアリマシタガ、

政府ガ御答ニナルヤウニ、私ノ質問モ現行
ノ勞働法規、即チ工場法トカ、鑛業法、其
ノ他商店法ナドニ書イテアル勞働時間ノ中
ニ云々ト云フ質問デアリマシテ、今政府ノ
御答ニナツタ通りデアリマス

校ノ國庫補助費ノ問題ニ付テ、ヤハリ吾々

委員カラモ、此ノ點ニ付テ當局ニ御質問

致シタノデアリマス、ソレハ此ノ青年學校

ノ義務制ガ、其ノ父兄ニ負擔サレテ居ル今

回ノ建前デアリマスケレドモ、實際ハ都會

ニ於ケル青年學校ノ生徒ヲ收容シテ居ル大

部分ノ實情カラ見マスルト、殆ドサウ云フ

義務ヲ負擔サレテ居ル父兄トハ、非常ニ距

離ガ離レタ場所ニ居ルノデアリマス、即チ

商店ナリ、或ハ工場ナリニ勤メテ居ル青少

年ガ、青年學校ニ收容サレルノデアリマス

カラ、此ノ青少年ガ大手ヲ振ツテ、此ノ義

務ニ從ヒ得ル爲ニハ、ドウシテモ之ヲ雇傭

シテ居ル雇傭主ニ、義務制ヲ負ハセナケレ
バナラヌト、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居リ
マシタノデ、其ノ當時之ニ對シマシテハ、

文部省ノ方デサウ云フ御規則ヲ御作リニナ
ルノカ、或ハ厚生省等ニ於キマシテ、所
謂社會勞働立法ニ依ツテ、サウ云フ規定
ヲサレルコトガ至當デアルカト云フコト
ヲ、御尋致シテ置イタノデアリマスガ、如
何デアリマスカ、其ノ點ニ付テ將來厚
生省當局トシテ、都會ニ於ケル多數ノ勤
勞青少年ヲ保護スルト云フ立場、即チ此ノ
義務性ノ實施ニ伴ウテ、サウ云フ立場ニア
ル者ガ、大手ヲ振ツテ青年學校ニ通ヒ得ルヤ

ウニ、商店主ナリ、或ハ雇傭主ニ義務性ヲ

負ハスト云フコトニ付テ、何カ御考ハナイ

ノデアリマスカ、其ノ點ヲ承リタイト思ヒ

マス

○成田政府委員 只今御話ニナリマシタ點

ハ、勞働者ナリ、或ハ商店ノ使用人ヲ使用

シテ居リマス雇傭主ニ、義務ヲ負ハセルコト

ガ必要デヤナイカト云フ御尋ノヤウニ、拜

聽致シタノデアリマス、其ノ點ニ付キマシ

テモ、色々私ノ方ト文部省ノ方ト、ズツト

前カラ相談ヲ重ネマシテ、結局ノ所――是

ハ御手許ニ御配付シテアルサウデアリマス

ガ、此ノ青年學校義務制ノ要綱ノ中ニ書イテ

アリマス通り、雇傭主ハ使用ニ依ツテ青年學
校ヘ義務トシテ行クベキ者ノ學校ニ行クコ
トヲ妨グルコトヲ得ズト云フコトヲ、是ハ

小學校令ノ中ニモ例ガアルサウデアリマシ
テ、ソレト同ジヤウナ文句ヲ青年學校令ノ
中ニ挿入スル、一方ニ於キマシテ現實ニ就
業時間ト云フモノト、青年學校ニ於ケル教
授、訓練時間ト云フモノトヲ、如何ニ安排
スルカト云フコトハ、是ハ働勞法規ノ方デ
規定ヲシテ行カウ、斯ウ云フコトニ結局相
成ツタ譯デアリマス

○長野(高)委員 只今考ハヤハリ雇傭主ニ義

務ヲ負ハスト云フコトガ、適切デアルト思ヒ

○野村委員長　サウシマスト是デ大體質問
ハ終了シタト思ヒマス、明日午後一時半ニ
開會スルコトニ致シマシテ、本日ハ是デ散
會ヲ致シマス

衆議院青年學校教育費國庫補助
法案委員會議錄第十二回中正誤

三	三	三	三	三	三	頁
五	五	五	五	五	五	段
二	二	二	二	二	二	行
一	五	三	三	二	一	
「ム	「ン	「ム	「ム	勗メム	勗メム	誤
「ン	「ム	「ン	「ン	勗メム	勗メム	正

昭和十四年三月十五日印刷

昭和十四年三月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局